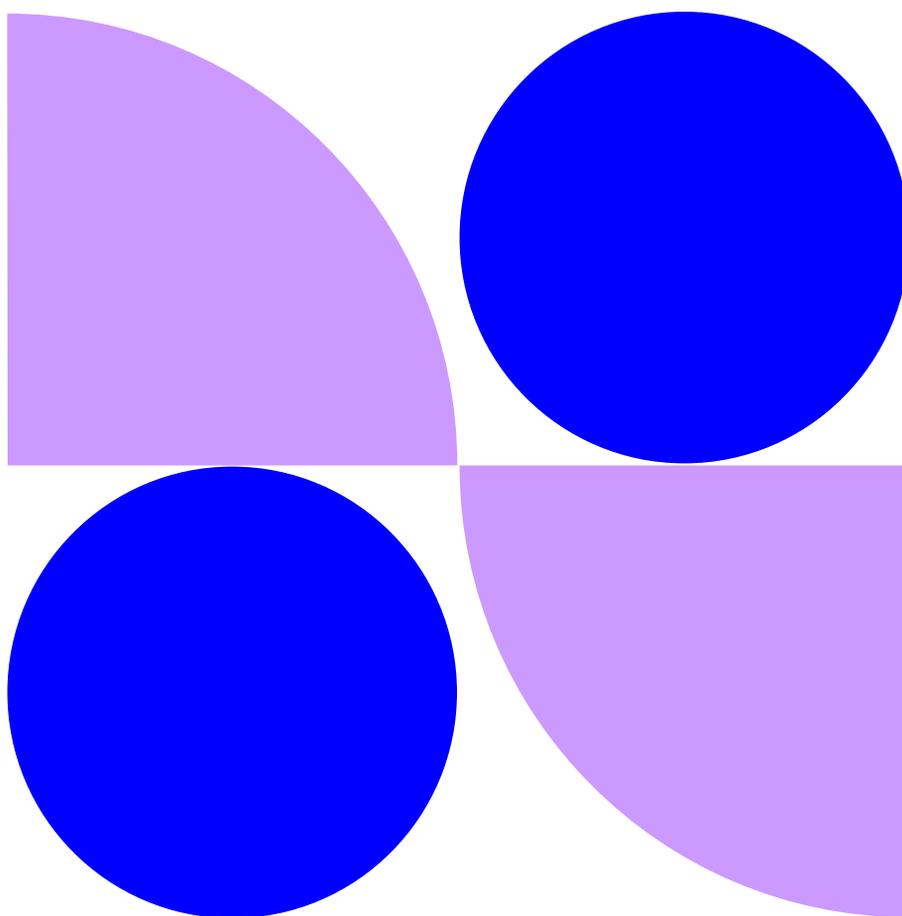


令和5年度文部科学省委託事業  
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

コロナ禍を踏まえた各地域における  
外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備

大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」  
2023

# 成果報告書



一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

2024年2月



一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会(以下、大専各)では、2007年の留学生委員会発足から、様々な外国人留学生(以下、留学生)に関わる取組みを行ってきました。特に留学生の専門学校教育に於いて『入学を考える、学ぶ、卒業後の進路としての就職まで導く』という入口から出口までの支援を体系化する事に力を注いでまいりました。この取組みは国内だけでなく国外にむけても積極的にいき、今日の大阪で受入れる専門学校数、そして専門学校で学ぶ留学生数が、大きく増えた礎と言えます。

しかし、振り返ってみれば、2020年に端を発した新型コロナウイルス感染猛威は、この留学情勢に多大な影響を及ぼしました。海外との往来が制限され、留学生の新規入国の目途がたたなくなり、日本留学の受入れ窓口ともいえる日本語教育機関の疲弊は相当のものとなりました。そしてこういった状況が、海外から日本留学希望者の意欲を削ぐ事につながり、それが将来的な日本留学離れにつながるかもしれないという懸念もありました。こういった状況の中で2022年3月、水際対策の緩和が示され、止まっていた留学生の受入れが再開されました。結果として2022年に入国した留学生数は、コロナ禍以前を遥かに上回る人数となり、前述の「日本留学希望者の意欲を削ぐ」という点においては、ひとまずの安堵につながったと言えます。そして現在、このコロナ禍を日本語教育機関で学んでいた多くの留学生が、高等教育機関である専門学校・大学への進学を決めているタイミングになっており、あらためて学校種を超えた連携の重要性を感じます。

まさしく本委託事業は、コロナ禍という激動の3ヵ年に取り組んだ事業です。いろいろ制約があった時期もありましたが、そこでの試行錯誤は、いまでも生きています。大阪ではよく出る話として・・・本来、受入れにしろ、教育、就職サポートは、1専門学校、各校で対応するものです。ただ、こういった委託事業を利用することで、団体としてまとまって行う事で、想像以上の結果が期待できます。

専門学校だけでなく、地域の留学生を必要とする・支援していく行政や他団体・企業・学校種を超えた連携は、大きな成果へと結びつきます。まさしく「オール大阪」として、留学生の誘致・教育・就労、そして定着まで目指す体制が強固なものになると感じています。

大阪は、万博をはじめこれから国際的に注目をあびる機会が増えます。ぜひ、そういった場で留学生も注目され、活躍していける環境・体制づくりにつながれば幸いです。

末筆ながら、本事業にご協力を頂きました関係各位の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、今後も引き続き宜しくご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年2月

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
留学生委員会  
委員長 山下 裕貴

# 目次

はじめに	1
目次	2
第1章：委託事業概要	3
1. 委託事業名	
2. 委託事業実施期間	
3. 委託事業趣旨・目的	
4. 実施した取組の具体的内容	4
第2章：個別事業の実施内容	11
1.今年度に取り組んだ具体的な内容について	11
(1) 取組別の具体的内容	11
【1】 OSAKA留学生情報サイトの維持拡充	11
①サイト全体の多言語化維持	
②課題発見のためのユーザモニタリング	
③サイト内動線の改善	
④「留学生受入れ校一覧」の更新	
⑤YouTube動画特集ページの追加	
【2】 映像コンテンツの制作・配信	14
①大阪の専門学校プロモーション動画 10種	
②大阪の専門学校プロモーション動画のダイジェスト版 1種	
【3】 SNSマーケティング	15
①ベトナム対象Facebookの運用	
②インドネシア対象Facebook + Instagramの運用	
③ネパール対象Facebookの運用	
【4】 進学情報カードおよびOSAKA留学生情報サイトへの誘引ツールの制作・配布	17
①留学生採用検討企業向け誘引ツール	
②日本語教育機関向け誘引ツール	
③留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード	
【5】 市場動向調査	19
専修学校、日本語教育機関、企業、留学生、海外現地教育機関へのアンケート調査、および分析報告書の作成	
【6】 海外教育機関へのオンライン出前授業	21
【7】 関西 日本語学校・専門学校情報共有会	22
【8】 専門学校教職員向けセミナー	24
今こそ考える留学生支援ーポストコロナにおける新しい潮流の変化ー	
①ネパール学生急増にどう対応するか	24
②教職員が知っておきたい「通じる日本語」とは	25
③ミスマッチを起こさない 就職支援	26
【9】 金融機関向け 留学生×専門学校勉強会	27
【10】 留学生インターンシップ企画	29
【11】 外国人留学生採用セミナー・交流会	31
テーマ：外国人留学生採用フォーラム ～多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性～	
(2) 事業実施によって達成した成果及び測定指標	33
(3) その他報告事項	37
【12】 成果報告書	
【13】 事業成果PR動画	
2.事業終了後に実施予定の取組及び成果の普及方策	37
3.事業実施に伴うアウトプット	38
(1) 実施一覧	38
(2) アンケート結果（抜粋）	39
4.事業の実施体制	55
(1) 実施体制 (2) 構成機関等 (3) 構成員等	
(4) 会議の開催と連携・協力体制	

## 第1章 委託事業概要

### 1. 委託事業名

令和5年度文部科学省委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」  
コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備  
大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2023

### 2. 委託事業実施期間 2023年6月29日～2024年3月1日

### 3. 委託事業趣旨・目的

#### (1) 事業の趣旨・目的について

ポストコロナで世界の留学生から選ばれる「大阪の専門学校」になるために  
～職業教育を知ってもらう・理解してもらう・広めてもらう～

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（以下、「大専各」）は、これまで留学生支援として『入学を考える、学ぶ、就職まで導く』という入口から出口までの体系化に力を注いできた。このコロナ禍3年間も工夫を図りながら継続してきた。そして令和4年3月、ようやく水際対策の緩和により海外からの留学生の受入れが再開され、7か月間で約14万人の留学生が入国し、これはコロナ前の年間数値を上回るに至った。特筆すべきは、この多くが国内の日本語教育機関に在籍しており、令和6年度3月までの卒業、そして専門学校・大学といった上級校へ多くの進学が見込まれる点である。こういった留学生受入れの追い風があるいまだからこそ、あらためて日本留学への関心・魅力を海外にむけて発信するとともに、留学生教育、進路サポートもより充実させていく必要がある。こういった取組みを各専門学校で行っていくことは大切であるが、より波及されるためには、団体として組織的活動をしっかり行うべきだと考えた。そして日本語学校・企業・団体・行政までが一緒になり、「オール大阪」的視点で進めていくことは、大阪の専門学校がこのコロナ禍そしてポストコロナで世界の留学生から選ばれる礎である。

大阪では、令和7年度（2025年）に大阪・関西万博が開催される。まさしく国際行事として留学生の活躍の場は多岐にわたり、大阪の国際性を示すうえで重要な存在だと言える。大専各では令和4年度にTEAM EXPO 2025 共創パートナーに登録しており、現在、大専各が行っている留学生支援の取組みも共創チャレンジとして登録された。以上のように留学生の活躍の場が広がっていくような明るい話題がより一層増えるよう本事業に取り組んできた。

#### (2) 当該地域において取組を進める意義

##### i) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国（地域）

ベトナム	インドネシア	ネパール
------	--------	------

##### ii) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野

文化・教養分野	工業分野	教育・社会福祉分野
---------	------	-----------

大阪府内の専門学校在籍留学生数は令和4年5月時点で7,033人となっており前年度（令和3年8,686人）から2割ほど減少している。要因は、コロナ禍で入国規制がでてから、日本語教育機関の受入れ数が激減したため、進学先である高等教育機関にも影響がでてきていることが考え

# 第1章：委託事業概要

られる。前述の通り水際対策の緩和が示されて1年あまり経っている。改めて質的充実とともに量的拡充にも注力する必要がある。

産官学が協力して『オール大阪』で留学生を支援する組織「留学生支援コンソーシアム大阪」が掲げるKGIの一つが「2030年度に府内留学生数5万人（経済波及効果893億円）」であり、大専各としても一体となって継続的に量的拡充にも取り組んだ。

## 【ターゲット国】

専門学校との親和性、日本企業の経済進出、日本への関心度を鑑み、3国を選定した。

- ①ベトナム：府内の専門学校および日本語教育機関における在籍者数が最多で、これまでもターゲット国として様々な連携を行い、交流を深めてきた。
- ②インドネシア：令和元年度まで府内留学生数は増加傾向にあり、人口予測や日本語学習者数（※）から将来性に期待できる。
- ③ネパール：令和4年4月期のCOE交付数は中国に次ぐ。府内においても令和2年5月時点では6番目の人数であり、高等教育機関在籍学生のうち、88%が専修学校生であるため親和性が高い。

上記3か国について、令和4年度事業から継続してターゲットとして取り組んだ。

## 【ターゲット分野】

府内の専門学校在籍留学生数上位3分野に設定するが、量的拡充と質的充実を図るため、分野問わず網羅的に成果を出せるよう取り組んだ。

※日本語学習者数：1中国 2インドネシア 3韓国 4オーストラリア（国際交流基金「2018年度日本語教育機関調査」）

## 4. 実施した取組の具体的内容（事業計画時の内容）

### （1）取組別の内容

#### 〈A〉誘致広報（入学前）

「大阪の専門学校」に誘致広報するため、このコロナ禍に適したデジタルマーケティングを駆使した展開

ポストコロナにおける大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起を図り、日本留学希望者の母集団を拡げ量的拡充を目指した。

#### 【1】OSAKA留学生情報サイトの維持拡充

情報発信における基幹メディアのWEBサイトは、令和4年度年間ページビュー数（以下、「PV数」）101,807（前年比156%）、セッション数50,656（前年比174%）と大きく伸長、特に海外からのセッション数は13,518（前年比273%）と前年に続き大きく伸長しており、事業趣旨に応じた効果が表れている。これを維持し、更なる成果に繋がるよう改善してきた。

KPIの各項目について、GoogleAnalytics 4（以下、GA4）へのサービス移行に伴い指標を見直した。

これまでGoogleAnalytics（以下、UA）を用いて分析を行っていたが、当該サービスが令和5年7月をもってサービス終了し、GA4が後継サービスとなった。GA4ではこれまでのセッションを軸としたサイト分析から方針転換し、ユーザを軸にしたサイト分析となった。これに伴いセッションを軸とした分析が困難となるため、当該事業もユーザを軸としたKPIに変更した。KPIについては現在のUA数値より策定した。

令和4年度の実数については下記。

月間ユーザ数：3,331、海外からの月間ユーザ数：925、エンゲージメント率59.4%

エンゲージは10秒以上の継続したセッション、コンバージョンの発生したセッション、2ページ以上の閲覧が発生したセッションが該当する。

〔KPI 月間ユーザ数：3,500 海外からの月間ユーザ数：1,000 エンゲージメント率：65%〕

## 【2】映像コンテンツの制作・配信

外国人留学生や企業における職業教育への理解促進は重要な課題であるため、「大阪の専門学校プロモーション動画」を作成。大阪の専門学校が独自の誘致広報でも活用できるよう複数のテーマで大阪の専門学校の魅力を発信し、留学生や企業の専門学校理解を促進した。具体的には「誘致」「教育」「就職」の視点で、専門学校の特色である職業教育やサポートについて取り上げ、3分未満の動画を作成した。  
〔KPI 年度末合計再生回数：7,000〕

## 【3】SNSマーケティング

2021年11月～2023年3月まで複数のプラットフォームを運用し、種類・国によって反応が出てきている（例：ネパールFacebookリーチ17,675、インドネシアFacebookリーチ5,804、ベトナムFacebookリーチ5,792）。以上から他団体との連携など、より効果的・効率的に運用を模索した。  
〔KPI フォロー総数：300 リーチ総数：35,000〕 ※リーチ数：投稿された記事やアカウントを見たユーザー数

## 【4】進学情報カードおよびOSAKA留学生情報サイトへの誘引ツールの制作・配布

OSAKA留学生情報サイトをより多くのユーザに閲覧してもらうため、国内向けにも誘引施策が必要と考えた。サイトへの誘引を促す広報ツールおよび、専門学校の留学生受け入れ状況を一覧化した情報誌を作成し、日本語教育機関、企業、行政、駐日外国公館等の関係機関へ配布した。  
〔KPI 配布時期のユーザ数増加量と対象コンテンツのビュー数を成果指標とする〕

## 〈B〉教育支援（在学中[教育指導、在籍管理、生活支援サポート]）

世界の留学生から選ばれるため「職業教育」をブラッシュアップ、かつ誘致広報をフォローしていく活動。  
誘致広報をより効果的にすること、留学生に対する支援の質向上、そしてオンライン学習に係るコンテンツ提供に取り組んだ。

## 【5】市場動向調査

留学生を取り巻くステークホルダーの実態を把握し、必要な取り組みを進めるために実施した。また、環境改善の一助となるよう、調査対象者に広くフィードバックした。調査内容は行政・外部団体の協力を得て精査し、対象拡大、他団体との合同調査も模索することで、より有益な成果を目指した。  
〔KPI アンケート回答数 専修学校120校、留学生1,000人、日本語教育機関150校、企業500社、海外教育機関在籍学生100人〕

## 【6】海外教育機関へのオンライン出前授業

海外現地教育機関にオンライン授業を提供。令和4年度事業では、対象校・授業実施校を増やして出前授業を行い、様々な事例・知見を得ることが出来た。ただ現状、世界的にみてもポストコロナとして、対面授業のニーズが増えている。そこで令和5年度は実施校を絞り、より深掘りしたオンライン出前授業が出来ないか、試みた。  
〔KPI 授業受講者数：100人（専門学校5校の実施計画）〕

## 【7】関西日本語学校・専門学校情報共有会

専門学校は、日本語教育を担う日本語学校と連携し、日本語教育の先にある専門教育、そして就職までを一貫して明確にすることで、留学生誘致が強固になっていくと考えた。より良い「留学生支援」が実行できる体制整備を目指し、日本語学校と専門学校、外部団体との連携を模索し活動した。  
〔KPI 3回開催〕

## 【8】 専門学校教職員向けセミナー

留学生支援における課題や解決策等を専門学校間で共有し、専門学校教育の質的向上・発展を目的としている。令和4年度は延べ約400名、うち約70%が近畿エリア外から申込があり、全国的に波及できた意義あるセミナーだったと考えている。全国的波及効果も鑑みながら、本来の第1目的である大阪の専門学校レベル底上げに与するため、令和5年度はリアル・オンラインのハイブリッド開催とした。

〔KPI 3回開催 参加者数各130人〕

## 〈C〉 就職支援（就職支援等）

「職業教育」の成果のひとつであり、日本留学の大きな特徴。留学生、企業が安心できる環境を整備。

留学生、企業が安心できる環境を整備すべく、「就職支援」として企業に対し留学生の人材として採用する意義を啓発し留学生採用意欲を向上する活動を展開する必要がある。今年度は「インターンシップの普及・活用」をテーマとして、他団体との連携をさらに強化して取り組んだ。

## 【9】 金融機関向け 留学生×専門学校勉強会

地方銀行や信用金庫など地域に根付いた金融機関向けに留学生と専門学校についての勉強会を実施。開催意図として、現状、多くの金融機関は融資業務だけでなく人材採用や活用といったアドバイスなども行っているケースが見られ、こういった金融機関である行員の方々が、留学生や専門学校に対する認知・理解を促進することは多いに利点がある。本事業ではOSAKA留学生情報サイトや誘引ツールがあるので、より活用してもらえることを目指して企画した。開催形式は、ハイブリッド開催とし、アーカイブ配信で後日オンデマンド配信できることで視聴増を試みた。

〔KPI 参加社数：5社〕

## 【10】 留学生インターンシップ企画

持続可能な社会を実現する課題解決型の取り組みへの期待は高まり、大阪・関西万博の開催を控える大阪・関西企業への期待は高まっている。労働意識だけでなく、持続可能な使命意識を持った人材が求められており、留学生を取り巻く環境も例外ではない。労働意識、職業意識から、＜持続可能な使命意識：新たな意識＞の醸成を促すプログラムを留学生向けに提供することを企画した。具体的にはSDGsの考え方を短期間の講座で、社会課題とその解決について集中的にSDGsの考え方を学んだ。また発展的な取り組みとして、短期インターンシップに参加、企業とのチームプロジェクトを通じて成功体験を得られる取り組みとした。

〔KPI 短期講座：50人、短期インターンシップ：10人〕

## 【11】 外国人留学生採用セミナー・交流会

過年度に続き、企業の留学生採用意欲向上は大きな課題であるため、専門学校の職業教育は高水準であり学んでいる留学生は即戦力足り得るということ、多様性の実現など様々な課題に応える貴重な人財となることを啓発する場が必要である。前年度に引き続きインターンシップに焦点を当て、事例紹介等を行うことで企業のインターンシップ受入れの動機付けを目指した。また、就職活動をテーマとした留学生のスピーチ大会等も企画し、企業のみならず専門学校や就職を控える在籍学生にも有益な機会になるよう計画した。企画構成および実施は留学生支援コンソーシアム大阪、大阪府、大阪出入国在留管理局と連携し、リアル開催とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド型で実施し、より広域から参加できるよう工夫を図った。

〔KPI 参加者数：200人〕

## (2) 前述(1)の取組に付随して実施した取組(実態調査を含む)

### 1. 事業を実施する上で設置する会議

#### ①実施委員会(年2回)

企業・行政・教育機関等と連携を強化し、意見提言や実務協力を得る。また、今後の発展・活用について意見聴取を行った。

- ・第1回 2023年8月25日(金)
- ・第2回 2024年2月16日(木)

#### ②ワーキング会議(月1回・26校で構成)

事業実施のための現状と課題を共有・議論し、事業全般の計画策定・進捗管理を行い具体的に実行推進した。

- ・第1回 2023年7月21日(金)
- ・第2回 2023年8月25日(金)
- ・第3回 2023年9月15日(金)
- ・第4回 2023年10月19日(木)
- ・第5回 2023年11月17日(金)
- ・第6回 2023年12月15日(金)
- ・第7回 2024年1月26日(金)
- ・第8回 2024年2月16日(金)

### 2. 海外現地教育機関との連携

大専各ではこれまで、先の「専修学校留学生就職アシスト事業」「専修学校グローバル化対応推進支援事業」の下、日本留学と専修学校の職業教育理解を促進すべく、ベトナムをはじめとした海外現地教育機関と連携し交流を深めてきた。

具体的には、海外視察と現地教育機関との協議、職業教育理解促進セミナーの開催、現地教育機関での出前授業の実施、来日招聘と視察受入といった取組であり、直近でも海外現地教育機関との連携は活用している。令和3年度より、ベトナム国立ホーチミン市師範大学のチー先生に実施委員会として参加いただき、また、令和3年5月27日に、留学生受入れのための日本語教育機関とのネットワーク構築を目的に大専各主催で開催した「日本語教育機関とのマッチングセミナー(オンライン開催)」においては、海外現地から国立ホーチミン市師範大学(ベトナム)、帝京マレーシア日本語学院(マレーシア)、Mina日本語学校(ベトナム)にも参加いただき、大専各会員校と具体的な情報交換を図っている。この通り、これまで築いてきた繋がりを十分活用し事業を展開してきた。

### 3. 三か年計画として段階的に大きな成果を目指す

令和3年度は「誘致広報」に重点を置き、大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起を図り、日本留学希望者の母集団を拡げることと並行し、令和4年度に本格的に取り組む「教育支援」に向けて検証し礎を築く活動を行ってきた。

令和4年度は入国前に専門学校の学びに触れる機会の提供等、「教育支援」に重点を置いた。また、拡充した教育支援を広く提供するため、「誘致広報」は継続して積極的に実施した。令和3年度に作成した海外展開用の誘致広報素材を十分検証した上で活用し、効率的・効果的に計画。

そして令和5年度は集大成として「就職支援」を日本留学・大阪 専門学校への留学の特徴として、世界に誇れる内容として発信できる活動年度と考えた。就職支援を大阪留学の特徴に高めることは、短期の成果だけでなく留学生の母国における“日本留学予備層”を育てることにつながる。

このように、継続して「誘致広報」「教育支援」「就職支援」を推進し、留学意志決定後の留学誘導だけでなく、先行して予備軍を耕し動機づけ育て、そして入国後に充実したサポートを提供してきた。その事例を、あらためて予備軍育成に役立てサイクルを回すことで効率的・継続的な循環を生み出すこと

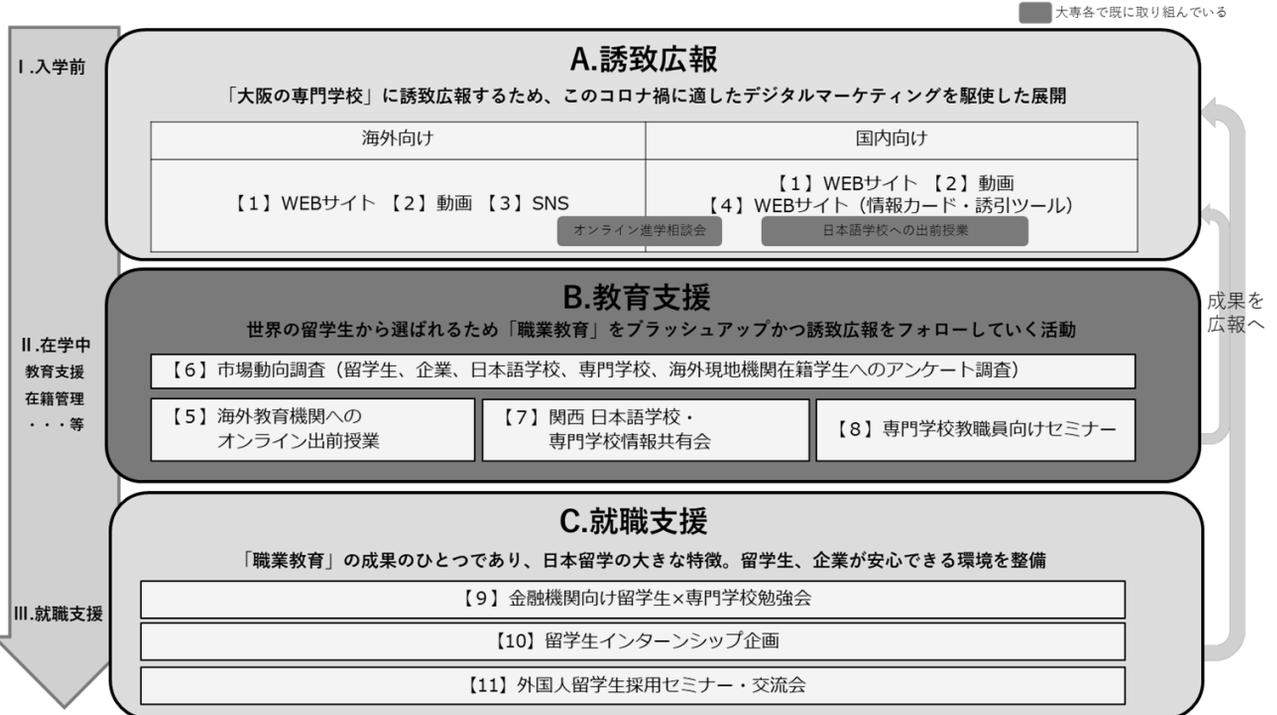
# 第1章：委託事業概要

を目指してきた。こうしたサイクルを通して、他団体との連携をより強化し、団体間での協定など形が後に残る取組みを行なう計画であった。

## (3) 今年度に取り組む具体的な内容について

取組の具体的な内容は、前述しているが、各取組を俯瞰視すると以下のような体系化した流れとなる。

### ポストコロナで世界の留学生から選ばれる「大阪の専門学校」になるために ～職業教育を知ってもらう・理解してもらう・広げてもらう～



## (4) 事業実施に伴うアウトプット

### <A.誘致広報>

#### 【1】 OSAKA留学生情報サイトの維持拡充

- ①多言語化
- ②課題発見のためのユーザモニタリング
- ③サイト内動線の改善
- ④「留学生受入れ校一覧」の更新
- ⑤YouTube動画特集ページの追加

#### 【2】 映像コンテンツの制作・配信

- ①大阪の専門学校プロモーション動画 10種
- ②大阪の専門学校プロモーション動画のダイジェスト版 1種

#### 【3】 SNSマーケティング

- ①ベトナム対象Facebookの運用
- ②インドネシア対象Facebook + Instagramの運用
- ③ネパール対象Facebookの運用

# 第1章：委託事業概要

## 【4】進学情報カードおよびOSAKA留学生情報サイトへの誘引ツールの制作・配布

- ①留学生採用検討企業向け誘引ツール
- ②日本語教育機関向け誘引ツール
- ③留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード

### <B.教育支援>

## 【5】市場動向調査

専修学校、日本語教育機関、企業、留学生、海外現地教育機関へのアンケート調査、および分析報告書

## 【6】海外教育機関へのオンライン出前授業

2023年11月6日（月）～27日（月）

## 【7】関西 日本語学校・専門学校情報共有会

- ①第1回 2023年6月30日（金）
  - ②第2回 2023年10月23日（月）
  - ③第3回 2024年1月30日（火）
- ・各開催の議事録報告書（3回）

## 【8】専門学校教職員向けセミナー

- ①第1回 2023年8月24日（木）
  - ②第2回 2023年10月26日（木）
  - ③第3回 2024年1月25日（木）
- ・アンケート集計報告書（3回） ・アーカイブ動画（3回）

### <C.就職支援>

## 【9】金融機関向け 留学生×専門学校勉強会

2023年10月3日（火）  
・アンケート集計報告書（1回） ・アーカイブ動画（1回）

## 【10】留学生インターンシップ企画

- ①企画1 2023年8月～9月実施
  - ②企画2 企画1からの連動型 2023年11月実施
- ・アンケート集計報告書（1回） ・アーカイブ動画（1回）

## 【11】外国人留学生採用セミナー・交流会

2023年11月2日（木）  
・アンケート集計報告書（1回） ・アーカイブ動画（1回）

## 【12】成果報告書

## 【13】事業成果PR動画

# 第1章：委託事業概要

## (5) 今年度の取組に関する年間スケジュール

	取組内容①	取組内容②	取組内容③	取組内容④	取組内容⑤
	OSAKA留学生情報サイトの維持拡充	映像コンテンツの制作・配信	SNSマーケティング	進学情報カードおよび留学生情報サイトへの誘引ツールの制作・配布	市場動向調査
4月	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出
5月					
6月	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定
7月	拡充内容の具体化	企画内容決定 撮影協力校選定	運用方針決定 運用開始	企画の具体化 参加校決定	アンケート項目検討
8月	制作	撮影		原稿回収～制作	アンケート項目決定
9月	テストアップ	編集		制作～納品	アンケートフォーム作成
10月	公開	YouTubeにて順次公開		発送	アンケート実施
11月					アンケート回収～報告書作成
12月	実績報告書（見込み）提出	実績報告書（見込み）提出	実績報告書（見込み）提出	実績報告書（見込み）提出	実績報告書（見込み）提出
1月					
2月					
3月			運用終了予定		

	取組内容⑥	取組内容⑦	取組内容⑧	取組内容⑨	取組内容⑩	取組内容⑪
	海外教育機関へのオンライン出前授業	関西日本語学校・専門学校情報共有会	専門学校教職員向けセミナー	金融機関向け留学生×専門学校勉強会	留学生インターシップ企画	外国人留学生採用セミナー・交流会
4月	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出	事業計画書提出
5月						
6月	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定	事業実施決定
7月	開催方針決定 国内協力校決定	第1回 情報共有会		企画詳細決定 告知	企画詳細決定	開催日程決定 プログラム検討
8月	現地協力校決定		第1回セミナー	実施	告知	プログラム決定
9月	実施に向けた調整	第2回 情報共有会			講座実施 (計5回)	
10月	オンライン出前授業 実施		第2回セミナー		↓	案内発送
11月					インターシップ 実施	採用セミナー 実施
12月	実績報告書 (見込み) 提出					
1月		第3回 情報共有会	第3回セミナー			
2月						
3月						

1.今年度に取り組んだ具体的な内容について

(1) 取組別の具体的な内容

〈A〉誘致広報（入学前）

【1】OSAKA留学生情報サイトの維持拡充

①「OSAKA留学生情報サイト」年次情報更新、多言語化

OSAKA留学生情報サイトの現況（解析期間2023年4月1日～2024年1月31日）

<https://study-osaka.com/>

ユーザ数 【KPI：3,500/月】	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023	4633.1	3890	4351	4257	5065	4424	5054	5983	4748	4180	4379		
2022	3436.3	2257	3149	3528	3119	3328	3591	4473	3233	3058	3906	3788	3805
2021	1957.1	1039	1279	1788	1820	1366	1841	2676	2497	2056	2358	2125	2640

海外からの ユーザ数 【KPI：1,000/月】	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023	1055.2	832	1014	878	1108	1051	1174	1283	1077	1184	951		
2022	974.8	532	1250	1245	835	824	854	1067	860	960	991	1014	1266
2021	364.0	152	177	272	518	216	281	393	435	365	432	558	569

エンゲージメント率 【KPI：65%】	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023	61.2	60.1	60.2	62	61.3	64	60.8	61.9	60.1	58.5	63.1		
2022	59.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57.79	60.66
2021	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) ユーザ数：2021年4月～2022年9月はUA、2022年10月以降はGA4  
 海外からのユーザ数：2021年4月～2023年3月=UA,2023年4月以降はGA4  
 エンゲージメント率はすべてGA4

■サイト全体の概況

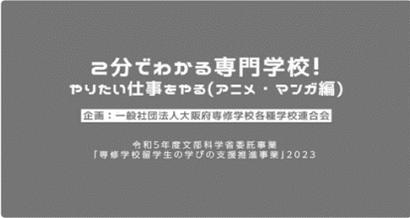
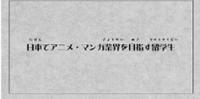
- 1) ユーザモニタリングを実施して実際に各校の留学生にモニタリング参加いただき、調査することで、よりリアルな意見や動向が見え、今後のユーザビリティの向上を図ることができた。日本人目線では気付きにくい部分の課題解決を図り、「留学生支援サイト」から「OSAKA留学生情報サイト」へとリニューアルした。数値も好調に推移しており、今後さらなる利用者増が期待できる。
- 2) 国内外からの閲覧が年々増加しており、サイトリニューアルや関連イベントを開催した10月は過去最多となる5,900超のユーザ数を記録し、以降も高い数値を維持している。
- 3) サイトの信頼度が上がり、Googleなどの検索エンジンで「外国人留学生」「senmon gakko」といった留学生に関連するキーワードで上位に表示されやすくなったため、自然流入によるアクセスが継続して増加傾向にある。特に海外ユーザ数はこの2年で飛躍的に伸びている。

<p>1.取組名</p>	<p><b>【1】 OSAKA留学生情報サイトの維持拡充</b>                  ①サイト全体の多言語化維持                  ②課題発見のためのユーザモニタリング                  ③サイト内動線の改善                  ④「留学生受け入れ校一覧」の更新                  ⑤YouTube動画特集ページの追加</p>
<p>2.目的・概要</p>	<p>情報発信における基幹メディアのWEBサイトは、令和4年度年間ページビュー数（以下、「PV数」）数101,807（前年比156%）、セッション数50,656（前年比174%）と大きく伸長、特に海外からのセッション数は13,518（前年比273%）と前年に続き大きく伸長しており、事業趣旨に応じた効果が表れている。これを維持し更なる成果に繋がるよう改善した。KPIの各項目についてGoogleAnalytics 4（以下GA4）へのサービス移行に伴い指標を見直した。                  これまでGoogleAnalytics（以下UA）を用いて分析を行っていたが、当該サービスが令和5年7月をもってサービス終了し、GA4が後継サービスとなった。GA4ではこれまでのセッションを軸としたサイト分析から方針転換し、ユーザを軸にしたサイト分析となる。これに伴いセッションを軸とした分析が困難となるため、当該事業もユーザを軸としたKPIに変更した。KPIについては現在のUA数値より策定した。令和4年度の実数については下記。                  月間ユーザ数：3,331、海外からの月間ユーザ数：925、エンゲージメント率59.4%                  エンゲージは10秒以上の継続したセッション、コンバージョンの発生したセッション、2ページ以上の閲覧が発生したセッションが該当する。</p>
<p>3.広報手法</p>	<p>OSAKA留学生情報サイト</p>
<p>4.広報対象</p>	<p>海外向け・国内向け</p>
<p>5.実施内容</p>	<p>①サイト全体の多言語化維持（英語、簡体字、繁体字、ベトナム語、インドネシア語、韓国語、ネパール語、ミャンマー語、タイ語）                  ②ユーザモニタリング：リアル座談会7月/3回実施、WEBアンケート                  ③サイト内動線の改善                  ④留学生受け入れ校一覧の更新：73校                  ⑤YouTube動画特集ページの追加</p> <p>▼①多言語対応維持</p>    <p>▲スマートフォン画面</p>
<p>6.KPI、KPIの達成状況</p>	<p>KPI                  ①ユーザ数：3,500 ②海外ユーザ数：1000. ③エンゲージメント率：65.0%                  KPIの達成状況                  ①ユーザ数：4,633 ②海外ユーザ数：1,055 ③エンゲージメント率：61.2%</p>

## 第2章：個別事業の実施内容

7.構成員	58ページに掲載
8. 成果、実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>継続する多言語化の取り組みにより多様な国と地域からの流入が更に拡大</b>            サイト利用者の日本語閲覧率は41.5%に留まり、6割近くは母語で閲覧している。特に英語（33.5%）、ベトナム語（10.8%）、中国語（6.4%）、インドネシア語（3.4%）などの閲覧が多い。実装済みの他言語LPも英語、インドネシア語、ベトナム語を中心に流入が増加傾向にある。特にインドネシア語LPは現地からの閲覧や高いエンゲージメント率が特長となっている。</li> <li>・ エンゲージメント率に指標が変わったが、KPIは未達のもの全体としてはエンゲージメントは改善傾向にある。これまで直帰率に課題があったコンテンツもエンゲージメント率は好調であり、今後は滞在時間と両面でさらなる改善を図る。</li> </ul>
9.新に健在化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>一部言語でのエンゲージメント率に課題</b>            言語別に見ると、中国語、ミャンマー語などがエンゲージメント率50%を切っており、平均エンゲージメント時間を見ると中国語、韓国語が1分を切る閲覧となっている。上位流入言語別に動向をみると、中国語閲覧者のみLPコンテンツへの流入が少なく、それがそのままエンゲージメントの低下につながっている可能性がある。英語話者、ベトナム語話者、インドネシア語話者はそれぞれLPへの流入が最多となっており、現地検索でも上位表示されていると推察される。ただしこれらは中国現地の検索システムに依るところが大きく、情報収集とあわせて改善を図っていく。</li> </ul>
10.本事業終了後の目指すべき指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ターゲットごとに最適化したSEO対策</b>            まだ認知されていないコンテンツもあるものの、コンテンツ自体は充実しているものと考え。各コンテンツTOPのSEO対策を強化する一方で、特にターゲット国在住者、言語者のサイト内動線の最適化を検討する。</li> <li>・ <b>「自走できるサイト」をめざす</b>            サイトへの誘引ツールやイベント開催に依ることなく、通年で留学生本人、日本語教育機関、専門学校、企業などの各ステークホルダーに見てもらえるサイトをめざす。具体的には、会員校からの情報を収集・発信する仕組みの更なる改善に取り組む。</li> </ul>

## 第2章：個別事業の実施内容

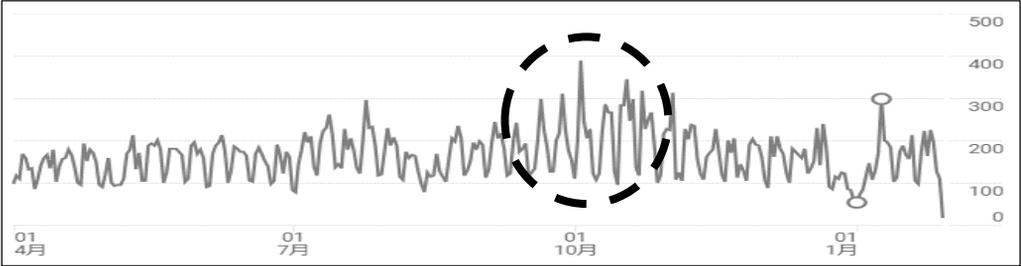
1.取組名	<b>【2】映像コンテンツの制作・配信</b> ①大阪の専門学校プロモーション動画 10種 ②大阪の専門学校プロモーション動画のダイジェスト版 1種
2.目的・概要	外国人留学生や企業における職業教育への理解促進は重要な課題であるため、「大阪の専門学校プロモーション動画」を作成。大阪の専門学校が独自の誘致広報でも活用できるよう複数のテーマで大阪の専門学校の魅力を発信し、留学生や企業の専門学校理解を促進した。具体的には「誘致」「教育」「就職」の視点で、専門学校の特色である職業教育やサポートについて取り上げ、3分未満の動画を作成した。
3.広報手法	動画
4.広報対象	海外向け・国内向け
5.実施内容	<p><b>①「大阪の専門学校プロモーション動画10種」／翻訳および字幕追加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 日本語学校教員、国内留学生、専門学校職員</li> <li>・動画利用 YouTube、OSAKA留学生情報サイト、海外SNS</li> <li>・動画時間 2分</li> <li>・動画本数 10本＋ダイジェスト版1本</li> <li>・テーマタイトル                      1. 専門学校留学のススメ 2. 専門学校と大学のチガイ 3. 留学生に聞いてみた!どうして専門学校に? 4. 留学生に聞いてみた!ココがすごい専門学校 5. 大阪留学の魅力 6. 安心の日本留学 7. やりたい仕事をやる(アニメ・マンガ編) 8. やりたい仕事をやる(建築編) 9. やりたい仕事をやる(自動車編) 10. やりたい仕事をやる(介護編)</li> <li>・撮影対象校(7校)                      エール学園／ホスピタリティツーリズム専門学校大阪／修成建設専門学校／学校法人瓶井学園／大阪工業技術専門学校／ボプラ介護福祉学校／大阪総合デザイン専門学校</li> <li>・撮影協力団体・日本語学校(1団体・1日本語学校)</li> </ul> <p>※OSAKA留学生情報サイト「大専各動画集」にも反映済み</p> <p><b>②ダイジェスト版の制作(1本)</b>                  大専各_2分でわかる専門学校_ダイジェスト版</p>       
6.KPI、KPIの達成状況	KPI 年度末合計再生回数：7,000 KPIの達成状況 年度末合計再生回数：4,906(2024年1月末時点)
7.構成員	58ページに記載
8.成果、実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生にわかりやすい専門学校動画                      日本留学を検討する外国人学生が、日本留学、大阪留学について知りたい基本的なことをわかりやすく動画にまとめることで、日本留学・大阪留学へのハードルを下げる効果が期待できる。</li> <li>・英語字幕版により、渡日前を含む留学希望者にも伝えやすくなった。</li> <li>・企業向けセミナーや海外現地を含む広報で活用されるなど、外国人専門学校生の理解促進に役立った。</li> </ul>
9.新に健在化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規視聴者の獲得                      視聴者から高い評価を得られているものの、公開直後と比較すると視聴数が限定的となっている。告知方法や導線の見直しの必要がある。</li> </ul>
10.本事業終了後の目指すべき指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くのターゲットに視聴してもらうために                      優秀な留学生の獲得について、各教育機関は勿論、企業にとっても有益であり、専門学校の留学生が優秀であることの周知は外国人材の採用促進につながる。これは留学生のニーズとも合致することであり、日本留学を促進するものと言える。今後は海外現地での専門学校理解促進に重点を置き、大専各が培ってきた連携団体とのつながりを通じて視聴機会の拡大をめざす。また、基幹サイトであるOSAKA留学生情報サイト上での動画視聴機会の増加を目的に告知の見直しを検討する。</li> </ul>

1.取組名	<p><b>【3】 SNSマーケティング</b></p> <p>①ベトナム対象Facebookの運用                  ②インドネシア対象Facebook+ Instagramの運用                  ③ネパール対象Facebookの運用</p>																																								
2.目的・概要	<p>2021年11月～2023年3月まで複数のプラットフォームを運用し、種類・国によって反応が出てきている（例：ネパールFacebookリーチ28,914、インドネシアFacebookリーチ6,239、ベトナムFacebookリーチ11,177）。他団体との連携など、より効果的・効率的に運用した。（※数値は2023年3月末時点）</p>																																								
3. 広報手法	Facebook・Instagram																																								
4. 広報対象	ベトナム、インドネシア、ネパール																																								
5.実施内容	<p>◆SNS配信ページQRコード</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ベトナム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲インドネシア</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ネパール</p> </div> </div> <p>Fasebookはベトナム、インドネシア、ネパール、Instagramはインドネシアで運用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施時期 2023年8月～2024年3月</li> <li>2) 投稿頻度 週2回程度の投稿</li> <li>3) フォロワー数とリーチ数を指針に継続的に数値観測</li> <li>4) これまで制作した動画や、令和5年度に制作する大阪の専門学校プロモーション動画は積極的に活用し発信</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																																								
6.KPI、KPIの達成状況	<p>KPI フォロー総数：300 リーチ総数：35,000                  KPIの達成状況 フォロー総数：441 リーチ総数：52,297</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>Facebook</th> <th>インドネシア</th> <th>ベトナム</th> <th>ネパール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. ページビュー</td> <td></td> <td>17,811</td> <td>12,959</td> <td>39,607</td> </tr> <tr> <td>2. ページへのいいね</td> <td></td> <td>24</td> <td>167</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>3. ページのフォロワー</td> <td></td> <td>30</td> <td>228</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>4. 投稿回数</td> <td></td> <td>290</td> <td>285</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>5. リーチ（ユーザー数）</td> <td></td> <td>6,968</td> <td>11,680</td> <td>30,513</td> </tr> <tr> <td>6. エンゲージメント（ユーザーの興味・関心の強さの指標）</td> <td></td> <td>1,212</td> <td>1,925</td> <td>4,419</td> </tr> <tr> <td>7. リアクション数（「いいね」などをした人数）</td> <td></td> <td>141</td> <td>1,073</td> <td>2,270</td> </tr> </tbody> </table>		Facebook	インドネシア	ベトナム	ネパール	1. ページビュー		17,811	12,959	39,607	2. ページへのいいね		24	167	125	3. ページのフォロワー		30	228	144	4. 投稿回数		290	285	195	5. リーチ（ユーザー数）		6,968	11,680	30,513	6. エンゲージメント（ユーザーの興味・関心の強さの指標）		1,212	1,925	4,419	7. リアクション数（「いいね」などをした人数）		141	1,073	2,270
	Facebook	インドネシア	ベトナム	ネパール																																					
1. ページビュー		17,811	12,959	39,607																																					
2. ページへのいいね		24	167	125																																					
3. ページのフォロワー		30	228	144																																					
4. 投稿回数		290	285	195																																					
5. リーチ（ユーザー数）		6,968	11,680	30,513																																					
6. エンゲージメント（ユーザーの興味・関心の強さの指標）		1,212	1,925	4,419																																					
7. リアクション数（「いいね」などをした人数）		141	1,073	2,270																																					

## 第2章：個別事業の実施内容

6. KPI、 KPIの達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Instagram</th> <th>インドネシア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. アカウトレーチ</td> <td>2,380</td> </tr> <tr> <td>2. フォロワー</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>3. 写真・動画ポスト</td> <td>274</td> </tr> <tr> <td>4. リーチ数（ユーザー数）</td> <td>3,136</td> </tr> <tr> <td>5. リアクション数（「いいね」などをした人数）</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table>	Instagram	インドネシア	1. アカウトレーチ	2,380	2. フォロワー	39	3. 写真・動画ポスト	274	4. リーチ数（ユーザー数）	3,136	5. リアクション数（「いいね」などをした人数）	179
	Instagram	インドネシア											
	1. アカウトレーチ	2,380											
	2. フォロワー	39											
	3. 写真・動画ポスト	274											
	4. リーチ数（ユーザー数）	3,136											
5. リアクション数（「いいね」などをした人数）	179												
7. 構成員	58ページに掲載												
8. 成果、実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生が増加しているネパールでのFacebookの閲覧が好調に推移。エンゲージメントも高く、ネパール現地での日本留学への関心の高さが伺える。</li> <li>・絶対数はまだ多くないものの、ベトナムFacebookからの流入が一定数みられ、SNS閲覧者がOSAKA留学生情報サイトに流入する割合は大きい。</li> <li>・委託期間後半の運用であるため、情報サイトの休眠時期の活性化の材料となる。</li> </ul>												
9 新たに顕在化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地SNSの認知度向上と運用分析からの見直し</li> </ul> <p>国と地域、媒体により反応に大きな差が出ている。また原稿提供校は増加したものの全体の3割程度と改善の余地がある。リーチ数は伸びてきているもののフォロワー増につながっていないアカウントもあり、ユーザの反応を分析しつつ改善していく必要がある。</p>												
10. 事業終了後の目指すべき指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本留学希望者の母集団拡大のためのSNS</li> </ul> <p>渡日前留学生への大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起において、SNSによる情報発信は効果的であり、フォロワー数とリーチ数を指針に、今後も継続的に取り組む。ネパールでのFacebook運用をはじめ反応が出はじめているものもあり、継続的に効果を測りながら選択と集中も検討する。また会員校からの原稿提供についての周知や運用方法を見直し、配信内容の充実を図る。</p>												

## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<p><b>【4】進学情報カードおよびOSAKA留学生情報サイトへの誘引ツールの制作・配布</b></p> <p>①留学生採用検討企業向け誘引ツール          ②日本語教育機関向け誘引ツール          ③留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード</p>
2.目的・概要	<p>OSAKA留学生情報サイトをより多くのユーザに閲覧してもらうため、国内向けにも誘引施策が必要。サイトへの誘引を促す広報ツールおよび、専門学校の留学生受け入れ状況を一覧化した情報誌を作成し、日本語教育機関、企業、行政、駐日外国公館等の関係機関へ配布した。</p>
3.広報手法	印刷物作成・配布、web掲載
4.広報対象	日本語学校、会員校、全国専各連、企業、行政、協力関係団体 等
5.実施内容	<p>①外国人留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード          ・1,500部発行</p> <p>②留学生採用検討企業向け誘引ツール          ・5,000部発行</p> <p>③日本語教育機関向け誘引ツール          ・5,000部発行</p> <p>④実施時期 2023年9月30日納品、10月6日発送済</p> <p>⑤送付先</p> <p>A日本語学校 753部（情報カード1部、教育機関誘引5部）          B大専各会員校 165部（情報カード1部、教育機関誘引1部、企業誘引1部）          C各専各 48部（情報カード1部、教育機関誘引1部、企業誘引1部）          D企業（支給） 1,500部（企業誘引2部）          D企業追加 216部（企業誘引2部）          E行政 30部（教育機関誘引5部、企業誘引5部）          Fその他（各種団体、金融機関、ワーキング校追加）29セット</p> <p>▼①専門学校情報カード ▼②企業向け ▼③日本語教育機関向け</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p><a href="https://study-osaka.com/seika/">https://study-osaka.com/seika/</a></p> </div>
6. KPI、KPIの達成状況	<p>KPI          配布時期のユーザ数増加量と対象コンテンツのビュー数を成果指標とする。          KPIの達成状況          誘引ツールおよび情報カード発行後のWEBサイトの反応。</p> 
7.構成員	58ページに掲載

## 第2章：個別事業の実施内容

8.成果、実施による効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>発送前後比較で流入数118%に増</b> 資料発送後にサイト閲覧数の増加が確認できており、一定の反応は得られた。</li><li>・継続的にサイトの周知を図ることで、ステークホルダーの認知度とサイト価値が向上する。</li></ul>
9.新たに顕在化した課題	<p>「<b>OSAKA留学生情報サイトに誘導する</b>」というツール目的からの発展 ユーザ数の増加など発送時期に反応が得られている一方で、日本語教育機関における専門学校教育についての理解にはまだまだ課題感がある。また大専各からの情報発信が現場担当者にまで届いていないことがあり、周知対象へのアプローチの方法にも検討の余地がある。</p>
10.事業終了後の目指すべき指標	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>日本語教育機関向け情報の見直しと、告知対象とリーチ方法の拡大</b> 専門学校のみである職業教育と就職について、ターゲットとしている日本語教育機関や企業からの理解を促進できるよう、誘引ツールをはじめとした掲載内容の精査を検討する。 また、留学生情報サイトをより広く周知するために、誘引ツールの発送のみならず配布協力先の拡大や各種セミナー等の折に積極的に発信していく。</li></ul>

〈B〉教育支援

誘致広報をより効果的にすること、留学生に対する支援の質向上、そしてオンライン学習に係るコンテンツ提供に取り組んだ。

1.取組名	<p><b>【5】市場動向調査</b> 専修学校、日本語教育機関、企業、留学生、海外現地教育機関へのアンケート調査、および分析報告書の作成</p>																														
2.目的・概要	<p>留学生を取り巻くステークホルダーの実態を把握し、必要な取り組みを進めるために実施した。また、環境改善の一助となるよう、調査対象者に広くフィードバックした。調査内容は行政・外部団体の協力を得て精査し、対象拡大、他団体との合同調査も模索することで、より有益な成果を目指した。</p>																														
3.広報手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインアンケートフォームによる回答収集。</li> <li>・結果を報告書にまとめWEBサイトで広く公開。</li> </ul>																														
4.広報対象	国内外																														
5.実施内容	<p><b>市場動向調査（留学生に関する実態把握アンケート調査）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の4つの調査対象以外に、海外の教育機関および在籍学生の調査を追加（オンライン授業実施校にもアンケート協力依頼）</li> <li>・調査内容の改善（行政・外部団体の協力を得て精査）</li> <li>・調査内容の活用（調査対象者にも役立つフィードバックを検討）</li> <li>・新たにハローワークの外国人雇用サービスセンターに協力を依頼するなど、対象の拡大・見直し</li> <li>・他団体との合同調査</li> </ul> <p>■調査実施時期： 2023年12月下旬～報告書公開（8月／質問項目決定、9月／フォーム作成、10月／アンケート実施、11月／報告書制作）</p> <p>■回答数</p> <table border="1" data-bbox="308 1158 1322 1514"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>条件</th> <th>回答数</th> <th>KPI</th> <th>昨年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業向け</td> <td>大阪商工会議所や、専門学校生の採用実績がある企業を中心に広く周知</td> <td>487</td> <td>500</td> <td>606</td> </tr> <tr> <td>専門学校向け</td> <td>大専各会員校対象</td> <td>67</td> <td>120</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>日本語学校向け</td> <td>全国の日本語教育機関対象</td> <td>47</td> <td>150</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>留学生向け</td> <td>大専各会員校在籍留学生中心</td> <td>1,337</td> <td>1,000</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td>海外留学生向け</td> <td>出前授業実施校</td> <td>550</td> <td>100</td> <td>774</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様5つの調査対象に実施。海外教育機関在籍学生のKPIは前年より減して設定</li> <li>・調査内容の改善・調査内容の活用（調査対象者にも役立つフィードバックを検討）</li> <li>・協力団体を通じた回答対象の拡大・見直し</li> </ul> <p>&lt;見直しのポイント&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 企業向け             <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生採用に期待すること（人手確保か人材獲得か）</li> <li>・特定技能2号の対象分野の追加について</li> </ul> </li> <li>2) 専修学校向け             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ関連設問項目の見直し（渡日前留学生ケア、入学辞退者9）</li> <li>・コロナ関連表記の見直し（コロナ禍→ポストコロナなど）</li> <li>・出願者の出身国・エリアの変化</li> <li>・留学生への日本語教育の変化</li> </ul> </li> </ol>	対象	条件	回答数	KPI	昨年度	企業向け	大阪商工会議所や、専門学校生の採用実績がある企業を中心に広く周知	487	500	606	専門学校向け	大専各会員校対象	67	120	102	日本語学校向け	全国の日本語教育機関対象	47	150	104	留学生向け	大専各会員校在籍留学生中心	1,337	1,000	736	海外留学生向け	出前授業実施校	550	100	774
対象	条件	回答数	KPI	昨年度																											
企業向け	大阪商工会議所や、専門学校生の採用実績がある企業を中心に広く周知	487	500	606																											
専門学校向け	大専各会員校対象	67	120	102																											
日本語学校向け	全国の日本語教育機関対象	47	150	104																											
留学生向け	大専各会員校在籍留学生中心	1,337	1,000	736																											
海外留学生向け	出前授業実施校	550	100	774																											

<p>5.実施内容</p>	<p>3) 日本語教育機関向け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家資格「登録日本語教員」に関しての設問（現場負担、現職教員の動向、資格取得に向けた動きなど）</li> <li>・コロナ関連設問項目の見直し（入国規制、卒業延長など）</li> <li>・受入れ留学生の国籍変化について</li> <li>・留学生募集の変化について（エージェント営業、現地訪問など）</li> <li>・学生に専門学校進学を勧めるときに重視するポイント</li> <li>・専門学校に求めること</li> </ul> <p>4) 留学生向け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校経由の留学か、直接留学か</li> <li>・渡日前にどのような情報を調べたか</li> <li>・コロナ関連項目の見直し</li> </ul>  <p><a href="https://study-osaka.com/seika/">https://study-osaka.com/seika/</a></p>  <p>&lt;39ページアンケート抜粋参照&gt;</p>
<p>6.KPI、KPIの達成状況</p>	<p>KPI アンケート回答数 専修学校120校、留学生1,000人、日本語教育機関150校、企業500社、海外教育機関在籍学生100人</p> <p>KPIの達成状況 専修学校67校、留学生1,337人、日本語教育機関47校、企業487社、海外教育機関在籍学生550人</p>
<p>7.構成員</p>	<p>58ページに掲載</p>
<p>8. 成果、実施による効果</p>	<p>・<b>コロナ前からの継続実施による各ステークホルダーの課題推移の把握</b> ステークホルダーの現況および、それぞれが抱える課題やニーズ等を把握。特に留学生、海外留学生の回答はKPIを大きく超過し、ポストコロナにおける留学生の課題把握ができた。企業についてもKPIにはわずかに及ばなかったものの多数の回答が得られた。</p> <p>・ポストコロナの現状を鑑み設問を大きく見直し、現在の課題や関心についての回答が得られた。</p>
<p>9.新たに顕在化した課題</p>	<p>・専修学校、日本語教育機関におけるKPI大幅未達 留学生、海外留学生、企業からの回答については成果が得られた一方、専門学校、日本語教育機関からの回答は大きく減少した。要因としてポストコロナの状況が落ち着き、リアルイベント等が増加したことで専門学校教職員が長期不在の状況があったことと、日本語教育機関においては増加した外国人留学生の日本語教育、進路指導対応でこちらもコロナ前を超える繁忙さがあったことが推察される。</p>
<p>10.事業終了後の目指すべき指標</p>	<p><b>激動する留学生動向の把握に有効な取り組みであり、次年度以降も継続して調査を行う。</b> アンケート回答数に課題があったステークホルダーについては実施時期や回答期間の延長などを検討する。</p> <p>・合同調査を試みることで、回答いただく対象者の負担軽減にもなるため、類似の調査を実施している団体や、調査をしたいと考えている団体等との協業を模索する。</p>

## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【6】 海外教育機関へのオンライン出前授業</b>																																																																																												
2.目的・概要	海外現地教育機関にオンライン授業を提供。令和4年度事業では、対象校・授業実施校を増やして出前授業を行い、様々な事例・知見を得ることが出来た。ただ現状、世界的にみてもポストコロナとして、対面授業のニーズが増えている。そこで令和5年度は実施校を絞り、より深掘りしたオンライン出前授業が出来ないか、試みた。																																																																																												
3.広報手法	オンラインによる授業配信																																																																																												
4.広報対象	ベトナム現地の教育機関で日本語を学んでいる学生																																																																																												
5.実施日時	2023年11月6日～11月27日（うち10日間）																																																																																												
6.実施内容	<p> <b>■授業提供学校数</b> 専門学校6校、延べ16授業  <b>■授業受講者数</b> 計379名  <b>■実施内容</b> </p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>曜日</th> <th>時間帯（日本時間）</th> <th>専門学校</th> <th>ベトナムの学校</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">月</td> <td>16:00 - 16:45</td> <td>ホスピタリティツーリズム専門学校大阪</td> <td>「日本語学校」ドンド日本語センター</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>17:00 - 17:45</td> <td>エール学園</td> <td>【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">火</td> <td>16:00 - 16:45</td> <td>ホスピタリティツーリズム専門学校大阪</td> <td>【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>17:00 - 17:45</td> <td>近畿社会福祉専門学校</td> <td>「日本語学校」ドンド日本語センター</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">水</td> <td>16:00 - 16:45</td> <td>大阪YWCA専門学校</td> <td>【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>17:00 - 17:45</td> <td>大阪YWCA専門学校</td> <td>「日本語学校」ドンド日本語センター</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">木</td> <td>16:00 - 16:45</td> <td>修成建設専門学校</td> <td>【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>17:00 - 17:45</td> <td>エール学園</td> <td>「日本語学校」ドンド日本語センター</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">金</td> <td>16:00 - 16:45</td> <td>近畿社会福祉専門学校</td> <td>【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>17:00 - 17:45</td> <td>修成建設専門学校</td> <td>【大学】ハノイ大学・ハノイ国家大学・日本語学部</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>土</td> <td>17:00 - 17:45</td> <td>大阪調理製菓専門学校</td> <td>【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>月</td> <td>17:00 - 17:45</td> <td>大阪調理製菓専門学校</td> <td>【高校】ホアン・ロン高等学校</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>木</td> <td>10:30 - 11:15</td> <td>修成建設専門学校</td> <td>【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>金</td> <td>10:30 - 11:15</td> <td>近畿社会福祉専門学校</td> <td>【高校】ホアン・ロン高等学校</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>月</td> <td>13:00 - 13:45</td> <td>エール学園</td> <td>【高校】外国語大学・ハノイ国家大学附属特選高等学校</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大阪YWCA専門学校</td> <td>【高校】ファン・ティン・フン高等学校</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>	月	曜日	時間帯（日本時間）	専門学校	ベトナムの学校	参加者数	6	月	16:00 - 16:45	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	「日本語学校」ドンド日本語センター	29	17:00 - 17:45	エール学園	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	19	7	火	16:00 - 16:45	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	12	17:00 - 17:45	近畿社会福祉専門学校	「日本語学校」ドンド日本語センター	31	8	水	16:00 - 16:45	大阪YWCA専門学校	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	8	17:00 - 17:45	大阪YWCA専門学校	「日本語学校」ドンド日本語センター	31	9	木	16:00 - 16:45	修成建設専門学校	【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校	22	17:00 - 17:45	エール学園	「日本語学校」ドンド日本語センター	24	10	金	16:00 - 16:45	近畿社会福祉専門学校	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	6	17:00 - 17:45	修成建設専門学校	【大学】ハノイ大学・ハノイ国家大学・日本語学部	18	11	土	17:00 - 17:45	大阪調理製菓専門学校	【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校	24	13	月	17:00 - 17:45	大阪調理製菓専門学校	【高校】ホアン・ロン高等学校	30	16	木	10:30 - 11:15	修成建設専門学校	【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校	50	17	金	10:30 - 11:15	近畿社会福祉専門学校	【高校】ホアン・ロン高等学校	13	27	月	13:00 - 13:45	エール学園	【高校】外国語大学・ハノイ国家大学附属特選高等学校	16				大阪YWCA専門学校	【高校】ファン・ティン・フン高等学校	46
月	曜日	時間帯（日本時間）	専門学校	ベトナムの学校	参加者数																																																																																								
6	月	16:00 - 16:45	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	「日本語学校」ドンド日本語センター	29																																																																																								
		17:00 - 17:45	エール学園	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	19																																																																																								
7	火	16:00 - 16:45	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	12																																																																																								
		17:00 - 17:45	近畿社会福祉専門学校	「日本語学校」ドンド日本語センター	31																																																																																								
8	水	16:00 - 16:45	大阪YWCA専門学校	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	8																																																																																								
		17:00 - 17:45	大阪YWCA専門学校	「日本語学校」ドンド日本語センター	31																																																																																								
9	木	16:00 - 16:45	修成建設専門学校	【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校	22																																																																																								
		17:00 - 17:45	エール学園	「日本語学校」ドンド日本語センター	24																																																																																								
10	金	16:00 - 16:45	近畿社会福祉専門学校	【大学】ハノイ大学・日本語学部 「日本語学校」ハト日本語センター	6																																																																																								
		17:00 - 17:45	修成建設専門学校	【大学】ハノイ大学・ハノイ国家大学・日本語学部	18																																																																																								
11	土	17:00 - 17:45	大阪調理製菓専門学校	【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校	24																																																																																								
13	月	17:00 - 17:45	大阪調理製菓専門学校	【高校】ホアン・ロン高等学校	30																																																																																								
16	木	10:30 - 11:15	修成建設専門学校	【高校】グエン・ジャ・ティウ高等学校	50																																																																																								
17	金	10:30 - 11:15	近畿社会福祉専門学校	【高校】ホアン・ロン高等学校	13																																																																																								
27	月	13:00 - 13:45	エール学園	【高校】外国語大学・ハノイ国家大学附属特選高等学校	16																																																																																								
			大阪YWCA専門学校	【高校】ファン・ティン・フン高等学校	46																																																																																								
7. KPI、KPIの達成状況	KPI:授業受講者数：100名 KPIの達成状況：授業受講者数：379名																																																																																												
8.構成員	58ページに掲載																																																																																												
9.成果、実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年課題だった「集客」について263名から379名と参加者数が大幅に増</li> </ul> <p>実施方法の見直しや事前告知が有効に機能し、授業内容についての評価も高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム現地の高校での授業数が増加、高い評価が得られた。日本に関心をもたせることができ、専門学校と、職業教育の理解を促した。</li> <li>・オンラインでつながることにより、海外現地教育機関の学生の反応をみる事ができた。</li> </ul>																																																																																												
10.新たに顕在化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学力と協力校ネットワークの拡大</li> </ul> <p>現地日本語教育機関、大学日本語学科、現地高校での出前授業を実施したが、大学からの参加は減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業によっては受講生の反応が希薄であったことや、多くの受講生が顔出し、声出ししないなど、大学・日本語センターからの参加について双方向性について課題があった。</li> </ul>																																																																																												
11.事業終了後の目指すべき指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より発展的な実施</li> </ul> <p>海外教育機関へのオンライン出前授業は、政府方針に掲げる外国人留学生40万人計画における留学生増にもつながる施策であり、発展的に進めていくべき取組である。今後、取組を拡大していくために、対象国の拡大や現地協力校を拡大していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学校と現地校双方の理解と満足度を向上させる取り組みを通じて、専門学校教育の周知と大阪への留学生誘致につながる関心拡大につながると考えられる。</li> </ul>																																																																																												



## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【7】 関西 日本語学校・専門学校情報共有会</b>
2.目的・概要	専門学校は、日本語教育を担う日本語学校と連携し、日本語教育の先にある専門教育、そして就職までを一貫して明確にすることで、留学生誘致が強固になっていくと考えた。より良い「留学生支援」が実行できる体制整備を目指し、日本語学校と専門学校、外部団体との連携を模索し活動した。
3.広報手法	会合
4.広報対象	国内向け
5.実施内容	<p>■開催日・概要</p> <p>①第1回（通算6回）：2023年6月30日          ■開催場所：アクセス梅田フォーラム          ■テーマ：          各専各協会の近況・取組紹介／各団体等の近況・取組紹介／日本語学校の近況／在留審査関連・留学生の入学状況等の情報提供／日本語学校と専門学校の連携検討／意見交換・質疑応答 ほか</p> <p>②第2回（通算7回）：2023年10月23日          ■開催場所：アクセス梅田フォーラム          ■テーマ：          各専各協会の近況・取組紹介／各団体等の近況・取組紹介／日本語学校の近況／在留審査関連・留学生の入学状況等の情報提供／日本語学校と専門学校の連携検討／意見交換・質疑応答 ほか</p> <p>③第3回（通算8回目）：2024年1月30日          ■開催場所：大阪私学会館          ■テーマ：          ・これまでの情報共有会についてふりかえり          ・大阪府警察本部刑事部からの情報提供          ・大阪府国際交流財団からの情報提供          ・大阪出入国在留管理局からの情報提供          ・意見交換</p> <p>■参加団体：（※回により異なる）          大阪府専修学校各種学校連合会（関西外語専門学校／修成建設専門学校／上田安子服飾専門学校／大阪総合デザイン専門学校／大阪文化国際学校）／和歌山県専修学校各種学校協会（和歌山グローバルビジネスカレッジ）／奈良県専修学校各種学校連合会（学校法人大原学園）／京都府専修学校各種学校協会（学校法人大和学園）／兵庫県専修学校各種学校連合会（愛甲学院専門学校）／日本電子専門学校／神戸住吉国際日本語学校／コミュニケーション学院／大阪国際アカデミー／大阪みなみ日本語学校／奈良外語学院／アース外語学院／東大阪みらい日本語学校／ホツマインターナショナル／友ランゲージスクール／大阪府教育庁私学課／大阪出入国在留管理局／大阪観光局／文部科学省（オブザーバー）／大阪府警察本部刑事部／大阪府国際交流財団（OFIX）／Transcend-Learning／日経BP/VICS行政書士事務所／日本検定基盤財団</p>
6.KPI、KPIの達成状況	KPI 3回 KPIの達成状況 3回
7.構成員	58ページに掲載



## 第2章：個別事業の実施内容

<p>8.成果、実施による効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西の日本語学校と専門学校、関連団体が一体となり活動していく必要性と、課題や現況をより把握できた。</li> <li>・参加校・団体が増えたことで情報共有会としての意義が更に向上した。特に大阪出入国在留管理局をはじめとした行政団体が参加している意義は大きく、専門学校や日本語学校が抱える課題を現場レベルで共有できていることは大変有意義だと考えている。</li> </ul>
<p>9.新たに顕在化した課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>急変する外国人留学生市場と日本語力向上についての課題</b></li> </ul> <p>2023年度卒業生について、目標とする日本語力に満たない外国人留学生の増加が懸念されている。特に急増するネパール人学生について日本語の修得スピードについて課題感を抱える日本語学校が多い状況が確認できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生数が急増したことで早期入試のみで入試を修了する学校が出るなど受験機会の損失につながる学校があるなどの個別の課題事例が確認できた。</li> <li>・2024卒の進路指導について、就職指導や特定技能への切り替えなど、これまでの留学を基本とした進路指導からの変化が一部で見られる。</li> </ul> <p>以上から、あらためて上級校である専門学校進学後も、日本語力を伸ばす工夫が必要であり、入試状況などは早い段階からしっかり情報提供していく必要性を感じた。</p>
<p>10.事業終了後の目指すべき指標</p>	<p>現状でも多くの専門学校に在籍している留学生のほとんどが、日本国内の日本語学校経由で入学している。日本語学校では、日本語力を向上されるだけでなく、日本での生活や文化など細かな指導を行ってくれているからこそ、我々専門学校としても、比較的スムーズな留学生受入れができていないのではないかと考える。ある意味、日本留学の窓口ともいえる日本語学校との連携は、留学生の質・量ともに重要な役割だといえる。</p> <p>海外ではあまり類をみない専門学校という教育機関について、理解・認知を広めるうえでも、まず日本語学校に専門学校の特長をしっかりと理解してもらえよう情報交換を図っていききたい。</p>

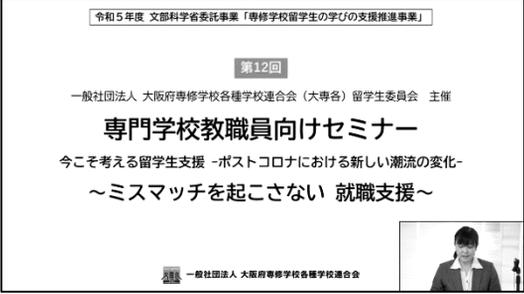
## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【8】 専門学校教職員向けセミナー①</b> <b>第1回 今こそ考える留学生支援 -ポストコロナ における 新しい潮流の変化-          ~ネパール学生急増にどう対応するか~</b>
2.目的・概要	ポストコロナの留学生市場において、ネパールからの留学生が急増しており、来年度から同国学生の専門学校進学が激増が予想される。彼らを正しく理解することが募集や学生生活において適切な対応につながるものと考え、第1回はネパール学生募集をテーマに、専門学校、日本語学校、留学生それぞれの視点から考察した。
3.開催日時	2023年8月24日（木） 15:00～16:30
4.開催方法	会場+Zoom によるオンラインセミナーのハイブリッド開催
5.主催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会
6.協力	清風情報工科学院 ポプラ介護福祉学校
7.対象者	専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員
8.プログラム ・登壇者	<p>&lt;学校紹介・募集・教育に関する取り組み事例発表&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清風情報工科学院 日本語科 校長 平岡 憲人</li> <li>・ポプラ介護福祉学校 事務局渉外担当 谷 久美</li> </ul> <p>&lt;トークセッション 急増するネパール人学生にどう対応するか&gt;</p> <p>ファシリテーター：ECC国際外語専門学校 白石 一幸</p> <p>パネリストのお二人に加え、ネパール人 元留学生も交えてトークセッションを実施。</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>司会：大阪YWCA専門学校 中山 羊奈</p> 
9.申込者数	219人（会場／10 オンライン／209） 内訳：専門学校／183 日本語学校／20 大学／6 行政・団体・企業／10
10.KPI、 KPIの達成状況	KPI 参加者数 130人 KPIの達成状況 171人（会場／4、オンライン／167）
11.構成員	58ページに掲載
12.成果、実施 による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学科を持つ情報系専門学校と介護専門学校、元留学生にて、ネパール人学生をテーマに意見交換することで、ネパール人留学生が持つ文化的背景や価値観、生活習慣などについて理解が深まった。</li> <li>・半数以上が大阪府外の広域からの参加であり、全国の専門学校に情報共有する機会となっている。</li> <li>・開催後のアンケートでは多数のコメントもいただいており、参加者の満足度が高く、次回に期待する声も多い。（次回も参加したい95.8%）</li> </ul>
13.新たに顕在 化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に実施していくうえで、テーマの設定と、講演者や協力団体の調整が課題。</li> <li>・参加者の留学生支援の課題は「日本語能力の向上（67.6%）」、「学習支援（51.5%）」、次点で「就職支援（47.1%）」と続く。</li> <li>・セミナー中において参加者からの質問も多く、開催時間の延長を希望する声も複数見られる。参加者により活発な意見交換や交流が図れる手法を検討する。</li> </ul>
14.事業終了後 の目指すべき 指標	日本全国の専門学校や、他の専門学校協会、自治体などにも参加いただいており、専門学校全体の留学生支援に底上げにつながる意義ある取り組みと捉えている。今後もこれまでと同水準の参加者数を指標として、テーマ設定のみならず、参加者との意見交換が図れる方法の模索といった、より効果的なセミナーを目指す。

## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【8】 専門学校教職員向けセミナー②</b> 第2回 今こそ考える留学生支援 -ポストコロナ における 新しい潮流の変化- ～教職員が知っておきたい「通じる日本語」とは～
2.目的・概要	日本語の多彩な表現や豊富な語彙は日本語を難解にする一面があると考え、第2回では専門課程の留学生が専門科目をより理解できるように、教職員が知っておきたい「通じる日本語」をテーマに、専門用語や現場で使う表現の習得やコミュニケーション能力向上のための取組みを紹介し、トークセッションで考察を行った。
3.開催日時	2023年10月26日(木) 15:00～16:30
4.開催方法	会場+Zoom によるオンラインセミナーのハイブリッド開催
5.主催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会 (大専各) 留学生委員会
6.対象者	専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員
7.プログラム ・登壇者	<p>&lt;事例紹介&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪文化国際学校 (日本語学校) 校長 岡 猛</li> <li>・近畿社会福祉専門学校 校長 榎 豪司</li> <li>・修成建設専門学校 広報部 五十嵐 世騰</li> </ul> <p>&lt;トークセッション ～通じる日本語」とサポート教育について～&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪文化国際学校 (日本語学校) 校長 岡 猛</li> <li>・近畿社会福祉専門学校 校長 榎 豪司</li> <li>・修成建設専門学校 広報部 五十嵐 世騰</li> </ul> <p>ファシリテーター：ECC国際外語専門学校 白石 一幸 司会：大阪YWCA専門学校 中山 羊奈</p> 
8.申込者数	164人 (会場/5 オンライン/159) 内訳：専門学校/143 日本語学校/7 大学/8 行政・団体・企業/6
9.KPI、 KPIの達成状況	KPI 参加者数 130人 KPIの達成状況 131人 (会場/4、オンライン/127)
10.構成員	58ページに掲載
11.成果、実施 による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学校、専門学校それぞれの立場から「通じる日本語」をテーマに事例紹介、トークセッションすることで、留学生に伝わりやすい日本語についての理解が深まった。</li> <li>・専門用語や現場で使う表現の習得やコミュニケーション能力向上のための取り組み紹介を通じて、専門学校の日本語教育への取り組みが周知できた。</li> <li>・半数以上が大阪府外の広域からの参加であり、全国の専門学校に情報共有する機会となっている。</li> <li>・参加者の満足度が高く、次回に期待する声も多い。(次回も参加したい91.1%)</li> </ul>
12.新たに顕在 化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に実施していくうえで、テーマの設定と、講演者や協力団体の調整が課題。</li> <li>・参加者の留学生支援の課題は「日本語能力の向上 (69.8%)」、「学習支援 (64.2%)」、次点で「就職支援 (52.8%)」と続く。</li> <li>・セミナー中において参加者からの質問も多く、開催時間の延長を希望する声も複数見られる。参加者により活発な意見交換や交流が図れる手法を検討する。</li> </ul>
13.事業終了後 の目指すべき 指標	日本全国の専門学校や、他の専門学校協会、自治体などにも参加いただいております。専門学校全体の留学生支援に底上げにつながる意義ある取り組みと捉えています。今後もこれまでと同水準の参加者数を指標として、テーマ設定のみならず、参加者との意見交換が図れる方法の模索といった、より効果的なセミナーを目指します。

## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【8】 専門学校教職員向けセミナー③</b> 第3回 今こそ考える留学生支援 -ポストコロナにおける 新しい潮流の変化- ～ミスマッチを起こさない 就職支援～
2.目的・概要	大阪・関西万博も控え、全国的な訪日客の増加をはじめインバウンド熱が高まる中、多くの業界で外国人材のさらなる活躍が期待されている。第3回では外国人留学生の「就職」をテーマに、専門学校、金融機関、大阪出入国在留管理局それぞれの立場から外国人留学生の就職に関連する取り組みなどを事例紹介し、トークセッションで考察を深めた。
3.開催日時	2024年1月25日（木）15:00～16:30
4.開催方法	Zoom によるオンラインセミナー
5.主催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会
6.対象者	専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員
7.プログラム ・登壇者	<p>&lt;事例紹介&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エール学園 キャリア支援本部本部長 西村 康司</li> <li>・池田泉州銀行 ソリューション営業部 HRグループ次長 谷口 洋介</li> <li>・大阪出入国在留管理局 在留支援部門 友森 啓介</li> </ul> <p>&lt;トークセッション～雇用のミスマッチを防ぐキャリア教育の在り方&gt;</p> <p>ファシリテーター：ECC国際外語専門学校 白石 一幸</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>司会：大阪YWCA専門学校 中山 羊奈</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
8.申込者数	申込者数181名 内訳：専門学校／101 日本語学校／10 行政・団体・企業／22
9.KPI、 KPIの達成状況	KPI 参加者数 130人 KPIの達成状況 133人（すべてオンライン）
10.構成員	58ページに掲載
11.成果、実施 による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学校、金融機関、大阪出入国管理局それぞれの立場から「ミスマッチを起こさない就職支援」をテーマに事例紹介、トークセッションすることで、外交人留学生の就職支援についての理解が深まった。</li> <li>・半数以上が大阪府外の広域からの参加であり、全国の専門学校に情報共有する機会となっている。</li> <li>・参加者の満足度が高く、次回に期待する声も多い。（次回も参加したい98.1%）</li> </ul>
12.新たに顕在 化した課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門科目に直結した日本語教育の可能性が今後のテーマとして検討できる。</li> <li>・専門学校が行う日本語教育が企業の求めるものと合致しているのか検証が必要。</li> <li>・継続的に実施していくうえで、テーマの設定と、講演者や協力団体の調整が課題。</li> <li>・参加者の留学生支援の課題は就職支援（68.0%）、日本語力の向上（58.0%）、次点で学習支援（40.0%）が多く、前回までの日本語能力の課題感から変化している。テーマの変更による参加者の変動が推察される。</li> <li>・セミナー中において参加者からの質問も多く、回答しきれないケースもある。開催期間の延長や、Q&amp;A項目への事後対応など、参加者とより活発な意見交換や交流が図れる手法を検討する。</li> </ul>
13.事業終了後 の目指すべき 指標	日本全国の専門学校や、他の専門学校協会、自治体などにも参加いただいております。専門学校全体の留学生支援に底上げにつながる意義ある取り組みと捉えています。今後もこれまでと同水準の参加者数を指標として、テーマ設定のみならず、参加者との意見交換が図れる方法の模索といった、より効果的なセミナーを目指す。

〈C〉 就職支援（就職支援等）

1.取組名	<b>【9】 金融機関向け 留学生×専門学校勉強会</b> テーマ：ポストコロナにおけるこれからの人材採用
2.目的・概要	ポストコロナとしての新しい社会。企業が急速な回復と成長を遂げるために、人材確保は必要不可欠な要素である。そして企業の成長を支える金融機関にとっては、経営戦略として多様な人材を採用することの意義や利点を理解し、顧客企業に的確な提案をできる事が、大きな武器になる。とりわけ外国人留学生の採用は、人材採用難を解決するだけでなく、異文化コミュニケーション能力を高め、グローバルな発想を生み出すなど、企業の多様性を高めることにつながる。そこで、金融機関の皆さまを対象に、大学・専門学校それぞれの立場から日本での就職を希望する留学生の特色やスキル、効果的な採用方法など、多様な人材確保に関する情報を端的にまとめたセミナーを開催した。外国人留学生に対する理解を深め、顧客企業への提案の幅を広げる一助となった。
3.開催日時	2023年10月3日（火）《第1部》16:00～17:20 《第2部》17:25～17:50
4.開催方法	会場+Zoomによるオンラインセミナーのハイブリッド開催
5.主 催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会
6.協力等	<b>【共催】</b> 一般社団法人 Transcend Learning <b>【協力】</b> 大阪府、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、留学生支援コンソーシアム 大阪、関西経済連合会、アジアビジネス創出プラットフォーム人材育成活用部会、大阪出入国在留管理局、一般社団法人 外国人留学生高等教育協会 <b>【後援】</b> 近畿経済産業局、独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部
7.広報対象	① 金融機関 関係者 ② 専門学校・大学 関係者
8.プログラム ・登壇者	<第1部> 「ポストコロナにおける多様な人材の確保について」 大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課 課長補佐 浦純子 「そもそも日本で学ぶ留学生とは？」 大専各留学生委員会 担当副理事長 富永桂多 「大学で学ぶ留学生win win な採用とは？」 Transcend Learning 理事 吉田圭輔 「専門学校で学ぶ留学生」 ・ 専門学校ってどういったところ？ 大専各留学生委員会 委員長 山下裕貴 ・ 業界別の採用① <建設業界> 修成建設専門学校 進路係係長 上杉敬史 ・ 業界別の採用② <介護業界> 近畿社会福祉専門学校 留学生受入責任者 岡田智幸 ・ 業界別の採用③ <観光・ホテル業界> 駿台観光&外語ビジネス専門学校 教務課長補佐 瀬川好美 質疑応答  <第2部> 会場参加の方のみ 名刺交換会 司会：近畿社会福祉専門学校 岡田智幸
9.申込者数	申込者数：33人（会場／22、オンライン／11） 内訳：金融機関／18 ワーキング校・団体・企業／15
10. KPI、 KPIの達成状況	KPI 参加社数 5社 KPIの達成状況 28人
11.構成員	58ページに掲載

## 第2章：個別事業の実施内容

12.成果、実施による効果	はじめての企画という事もあり、高いKPIの設定は行っていなかった。結果5社想定を大きく上回る金融機関に参加頂くことができた。すぐに効果がでる企画内容ではないものの、「留学生に対する興味・関心」を持ってもらう事ができたのではないかと考える。この後、大専各も協力しているが、留学生支援コンソーシアム大阪で、複数の金融機関の関係者が会合に参加するに至っている点は、評価できる点だと考える。
13.新たに顕在化した課題	次年度以降、同様のセミナーを行っていったとしても、参加いただく顔ぶれに変化がなければ、あまり意味をなさないと考えられる。であれば、思い切って、切り口をかえてみるのも手だと考えている。
14.事業終了後の目指すべき指標	中小企業にとって、金融機関は融資だけでなく様々な経営課題を解決するうえで強力な関係者だといえる。昨今はとくに人材がどの業界も不足しており、採用・育成活動が重要になってきている。そういった社会背景のもと、金融機関が留学生採用のメリットや実態を理解したうえで、中小企業に案内してくれれば、加速度的に留学生採用の市場は開けると考える。

## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【10】 留学生インターンシップ企画</b>
2.目的・概要	<p>持続可能な社会を実現する課題解決型の取り組みへの期待は高まり、大阪・関西万博の開催を控える大阪・関西企業への期待は高まっている。労働意識だけでなく、持続可能な使命意識を持った人材が求められており、留学生を取り巻く環境も例外ではない。労働意識、職業意識から、&lt;持続可能な使命意識：新たな意識&gt;の醸成を促すプログラムを留学生向けに提供することを企画した。</p> <p>具体的にはSDGsの考え方を短期間の講座で、社会課題とその解決について集中的にSDGsの考え方を学んだ。また発展的な取り組みとして、短期インターンシップに参加、企業とのチームプロジェクトを通じて成功体験を得られる取り組みとした。</p>
3-1 取組名	企画1 5回講座：大阪で働く上で必要となるマインドとスキル
3-2.実施日時	2023年8月～9月実施
3-3.参加者等	<p>参加申し込み8名 (内エントリー通過1名、辞退4名、不適格1名、不参加2名)</p> <p>参加者の在籍校：大阪YMCA国際専門学校1名、 修成建設専門学校2名、中央工学校OSAKA2名、 関西経理専門学校1名、関西テレビ電気専門学校1名、 大阪建設専門学校1名</p> 
4-1.取組名	企画2 企画1からの連動型 インターンシップ：企業とのチームプロジェクト（短期）
4-2.概要	<p>講座を学んだ留学生の中で、さらに自分のスキルを活用したい方に、挑戦できる機会を提供した。実際にチームに参加し、最終発表までの1～2カ月間程度（数回）参加してもらいSDGsプロジェクトで成功体験を得てもらうプログラム。</p>
4-3.実施時期	2023年11月実施
4-4.参加者等	エントリー通過者：大阪YMCA国際専門学校2年生（韓国／電通チームに合流）
4-5.実施の流れ	<p>9/20 大阪YMCA国際専門学校に訪問、担当教員に改めて企画説明 10/6 担当教員立会いの下、留学生本人に今後の流れを説明 10/11 留学生本人と電通チーム大学生の顔合わせと今後の流れを説明 10/20～事前研修 11/2 外国人留学生採用フォーラム内第2部にて吉田様より途中報告 11/13 府内小学1年生を対象に指導を開始（16:20～16:50／オンライン）以降、毎週月曜同時帯にて実施、同事業は2月末まで実施 11/30 成果発表会（於：関西大学梅田キャンパス）</p>    <p>▲成果発表会の様子</p>
4-6. KPI、KPIの達成状況	<p>KPI 短期講座：50人、短期インターンシップ：10人 KPIの達成状況 短期講座 8人、短期インターンシップ 1人</p>

## 第2章：個別事業の実施内容

5.構成員	58ページに掲載
6.成果、実施による効果	KPIで定めた動員数に対して、大きく未達である。 事業開始から動員・周知のタイミングで、準備不足だったことは否めないが、参加してくれた留学生の満足度、セミナー主催者側の反応は、たいへん良く、留学生の意欲的・モチベーションアップにつながったと感じている。
7.新たに顕在化した課題	参加する専門学校で学ぶ留学生を募る、募集面で苦戦した。 委託事業スタート後、すぐに準備不足と夏休み期間だったことが影響している。 内容はよかったから、次年度、募集期間は課題だと言える。
8.事業終了後の目指すべき指標	課題解決型のインターンシップ企画への参加は、留学生のモチベーションアップにつながるものだと感じている。元来、専門学校、各校のインターンシップは該当分野にそった職場体験型のインターンシップが多く、働くイメージにはつながるものの、あまり汎用性がないと言える。今回のように、学んでいる分野該当を意識せず、社会課題の解決型インターンシップ企画は、学生時代に力を入れたこと＝学チカを体現できる経験にもつながり、専門学校での学び、アルバイトなどとは違った成果を得ることができる。意欲高い留学生のポジティブなケアとして取り組んでいけることができれば、大きな引きになると考える。

## 第2章：個別事業の実施内容

1.取組名	<b>【11】 外国人留学生採用セミナー・交流会</b> テーマ：外国人留学生採用フォーラム ～ 多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性～
2.目的・概要	ポストコロナとして、新たなビジネスチャンスや革新的なアイデアの創出など経済は活性化している。あらゆる業界・企業が今後の成長を模索している中で、人材採用は重要な取組みのひとつである。本フォーラムでは外国人留学生に焦点をあて、これからの多様化する社会で新たな価値をつくりだす人材として、外国人留学生の価値を再発見する機会とした。
3.開催日時	2023年11月2日（金）15:00～16:30
4.開催方法	会場+Zoom によるオンラインセミナーのハイブリッド開催
5.主 催	一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）留学生委員会
6.協力等	<b>【共催】</b> 大阪商工会議所 大阪外国人材採用支援センター（公益財団法人大阪産業局） <b>【協力】</b> 留学生支援コンソーシアム大阪 関西経済連合会 アジアビジネス創出プラットフォーム人材育成活用部会 大阪出入国在留管理局 一般社団法人Transcend-Learning 一般社団法人 外国人留学生高等教育協会 <b>【後援】</b> 大阪府 近畿経済産業局 独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部
7.広報対象	①企業の経営者・人事担当 ②専門学校、各種学校、日本語学校の教職員 ③専門学校に在籍する外国人留学生
8.プログラム ・登壇者	<p>&lt;第1部&gt;トークセッション          「多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性」          学校法人 敬心学園 理事長 / (一社)外国人留学生高等教育協会 代表理事 小林 光俊          学校法人 エール学園 総長 長谷川 恵一          学校法人 福岡成蹊学園 理事長 岩本 仁          進行：大専各 留学生委員会委員長 山下 裕貴</p> <p>&lt;第2部&gt;活動中間報告          「SDGsをテーマにした留学生インターンシップ」          (一社) Transcend-Learning 理事 吉田 圭輔</p> <p>&lt;第3部&gt; 留学生プレゼンテーション          テーマ「私の就職活動」          エール学園 NGUYEN THI THANH VAN（ベトナム）          大阪YMCA国際専門学校 NGUYEN HUNG MAU LAM（ベトナム）          修成建設専門学校 王 金正（中国）          日本理工情報専門学校 李 墨（中国）          進行：大阪YMCA国際専門学校 立山 英展</p> <p>&lt;第4部&gt;情報交換会（名刺交換会） 会場参加者のみ          司会 近畿社会福祉専門学校 岡田 智幸</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

## 第2章：個別事業の実施内容

9.申込数等	事前申込 275人
10. KPI、KPIの達成状況	KPI 参加者数 200人 KPIの達成状況 183人（会場／59 オンライン／124）
11.構成員	58ページに掲載
12.成果、実施による効果	今年度も動員強化として共催、協力、後援いただいた行政機関、団体に積極的な告知協力をお願いすることが出来たことが、大きな要因ではある。昨年同様に、交流会での会話やアンケートからみるとその中でも留学生を採用しようか検討している企業群はあきらかに増えていると感じた。
13.新たに顕在化した課題	プログラムが充実していることは、良いことだが、全体を俯瞰視して考えると、時間内で進行が慌ただしい印象があった。次年度以降、バランスは再考したい。
14.事業終了後の目指すべき指標	大専各では、長年、外国人留学生の採用をテーマに、企業や行政と交流会を行ってきた。成果としては採用する・検討する企業は確実に増えており、多くの方が活躍してくれていると感じている。引き続き採用意欲ある企業の開拓は必要であるが、そろそろ外国人留学生の日本就職後の定着についても考えていく必要がある。そのために客観的な勤続データなどリサーチしていくことも模索していく。

(2) 事業実施によって達成した成果及び測定指標 (2024年1月31日時点)

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【1・4】留学生情報サイト</b> 月間ユーザ数:3,500	目標値	ユーザ数	-	-	-	3,500
	実績値	ユーザ数	818	1859	3,331	4,633
	達成度	%	-	-	-	132.4
(上記 KPI の測定手法) GoogleAnalytics4(以下 GA4)を用いて数値計測する。令和5年度よりサービス指針変更に伴いユーザ数に指標を変更する。GA4でのユーザ数はGAと比較して平均5%減のため、令和4年度までのユーザ数は実数の95%にて算出する。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【1・4】留学生情報サイト</b> 海外からの月間ユーザ数:1000	目標値	ユーザ数	-	-	-	1,000
	実績値	ユーザ数	41	345	925	1,055
	達成度	%	-	-	-	105.5
(上記 KPI の測定手法) GoogleAnalytics4(以下 GA4)を用いて数値計測する。令和5年度よりサービス指針変更に伴いユーザ数に指標を変更する。GA4でのユーザ数はGAと比較して平均5%減のため、令和4年度までのユーザ数は実数の95%にて算出する。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【1・4】留学生情報サイト</b> エンゲージメント率:65%	目標値	%	-	-	-	65.0
	実績値	%	-	-	59.4	61.2
	達成度	%	-	-	-	94.2
(上記 KPI の測定手法) GoogleAnalytics4(以下 GA4)を用いて数値計測する。令和5年度からのGoogle社のサービス指針変更に伴い直帰率からエンゲージメント率に指標を変更する。エンゲージメントは10秒以上の継続、またはコンバージョン、または2ページ以上の閲覧が発生したセッションが該当し、エンゲージメント率は上記エンゲージメントが発生したセッションの割合である。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【2】映像コンテンツの制作・配信</b> 年間合計再生回数:7,000	目標値	回	1,500	5,000	5,000	7,000
	実績値	回	2,180	3,082	6,251	4,906
	達成度	%	145.3	61.6	125.0	70.1
(上記 KPI の測定手法) ※令和5年度は2024年1月末時点の数値 GoogleAnalytics4(以下 GA4)を用いて数値計測する。令和5年度からのGoogle社のサービス指針変更に伴い直帰率からエンゲージメント率に指標を変更する。エンゲージメントは10秒以上の継続、またはコンバージョン、または2ページ以上の閲覧が発生したセッションが該当し、エンゲージメント率は上記エンゲージメントが発生したセッションの割合である。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【3】SNS マーケティング</b> フォロー総数:300	目標値	件	-	-	200	300
	実績値	件	-	122	255	441
	達成度	%	-	-	127.5	147.0
(上記 KPI の測定手法) 実施 SNS アカウントの管理サイトにて年度末フォロー総数にて測定。日本留学や専門学校に高い興味を示している人を示す数値のため指針とする。						

KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【3】SNS マーケティング</b> リーチ総数:35,000	目標値	件	-	-	3,000	35,000
	実績値	件	-	2,827	31,577	52,297
	達成度	%	-	-	1052.5	149.4
(上記 KPI の測定手法) 実施 SNS アカウントの管理サイトにてリーチ数を集計して測定。日本留学や専門学校に高い興味を示している人を示す数値のため指針とする。投稿を閲覧したユーザ数を示す数値であるため。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【5】市場動向調査</b> アンケート回答数 専修学校:120	目標値	校	-	120	120	120
	実績値	校	109	79	102	67
	達成度	%	-	65.8	85.0	55.8
(上記 KPI の測定手法) 対象である大専各会員校 164 校(令和5年4月時点)のうち約70%以上の回答として、過年度の実績を基に設定。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【5】市場動向調査</b> アンケート回答数 留学生:1,000	目標値	人	-	1,000	1,000	1,000
	実績値	人	996	678	736	1,337
	達成度	%	-	67.8	73.6	133.7
(上記 KPI の測定手法) 大専各会員校在籍留学生を中心とした回答として、過年度の実績を基に設定。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【5】市場動向調査</b> アンケート回答数 日本語教育機関:150	目標値	校	-	60	150	150
	実績値	校	49	115	104	47
	達成度	%	-	191.6	69.3	31.3
(上記 KPI の測定手法) 全国の日本語教育機関を対象とした回答として、過年度の実績を基に設定。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【5】市場動向調査</b> アンケート回答数 企業:500	目標値	社	-	500	500	500
	実績値	社	414	224	606	487
	達成度	%	-	44.8	121.2	97.4
(上記 KPI の測定手法) 大阪商工会議所や、専門学校生の採用実績がある企業を中心とした回答として、過年度の実績を基に設定。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【5】市場動向調査</b> アンケート回答数 海外教育機関在籍学生:100	目標値	人	-	-	300	100
	実績値	人	-	-	774	550
	達成度	%	-	-	258.0	550
(上記 KPI の測定手法) オンライン出前授業などで連携する現地機関からの回答として、実施内容や協力機関を精査して実施予定のため KPI としては令和4年度事業よりも減して設定。						

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【6】海外教育機関へのオンライン出前授業</b> 受講者数:100 (上記 KPI の測定手法) オンライン出前授業などで連携する現地機関からの回答として、実施内容を精査して規模を縮小して実施予定のため KPI としては令和4年度事業よりも減して設定。	目標値	人	-	50	300	100
	実績値	人	-	110	263	379
	達成度	%	-	220.0	87.6	379
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【7】関西 日本語学校・専門学校 情報共有会</b> 開催:3 (上記 KPI の測定手法) 日本語教育機関と専門学校が、これまで以上に密接に情報共有していく開催回数として設定。	目標値	回	-	-	3	3
	実績値	回	-	1	3	3
	達成度	%	-	-	100	100
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【8】専門学校教職員向けセミナー①</b> 参加者数:130(オンライン・リアル合計) (上記 KPI の測定手法) より多くの専門学校教職員に情報提供することを目的に、過年度の実績を基に設定。従来同様、エリアごとの参加人数や、学校・分野等も把握する。	目標値	人	-	130	130	130
	実績値	人	-	97	111	171
	達成度	%	-	74.6	85.3	131.5
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【8】専門学校教職員向けセミナー②</b> 参加者数:130(オンライン・リアル合計) (上記 KPI の測定手法) より多くの専門学校教職員に情報提供することを目的に、過年度の実績を基に設定。従来同様、エリアごとの参加人数や、学校・分野等も把握する。	目標値	人	-	130	130	130
	実績値	人	-	97	142	131
	達成度	%	-	74.6	109.2	100.8
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【8】専門学校教職員向けセミナー③</b> 参加者数:130(オンライン・リアル合計) (上記 KPI の測定手法) より多くの専門学校教職員に情報提供することを目的に、過年度の実績を基に設定。従来同様、エリアごとの参加人数や、学校・分野等も把握する。	目標値	人	-	-	130	130
	実績値	人	-	-	93	133
	達成度	%	-	-	71.5	102.3
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【9】金融機関向け 留学生×専門学校 勉強会</b> 参加社数:5社 (上記 KPI の測定手法) 金融機関を対象に留学生と専門学校の理解を深める勉強会としてオンラインで実施する。実施後はオンデマンドで視聴できる環境をつくる。	目標値	社	-	-	-	5
	実績値	社	-	-	-	9
	達成度	%	-	-	-	180

## 第2章：個別事業の実施内容

KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【10】留学生インターンシップ企画</b> 参加者数:50(講座)、 10(インターンシップ) (上記 KPI の測定手法) 専門学校に通う留学生を対象した講座(全 5 回)への参加者合計と、講座参加者を対象としたインターンシップ参加者合計を KPI として設定する。	目標値	人	-	-	-	50
	実績値	人	-	-	-	8
	達成度	%	-	-	-	16
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【11】外国人留学生採用セミナー・交流会</b> 参加者数:200 (上記 KPI の測定手法) 過年度の実績を基に設定。特に、令和5年度は会場参加 67 名の実績を更に拡大できるよう努める。	目標値	人	150	100	150	200
	実績値	人	85	175	256	183
	達成度	%	56.6	175.0	170.6	91.5

### (3) その他報告事項

#### 【12】成果報告書

##### 1) 目的

取組の事業結果を掲載、とりまとめて成果報告書として印刷、事業周知を行う。

##### 2) 内容

A4/印刷部数：290部

##### 3) 配布・周知

関係各位に送付し、事業成果の周知を行った。なお本報告書のpdfを大専各WEBサイトにアップし、重ねて事業成果の周知を行った。

発送先：大専各会員校、全国専各連事務局他、大専各会合等へ2月中旬に発送・配布。



#### 【13】事業成果PR動画

##### 1) 目的

今年度実施した事業について、簡潔にわかりやすくまとめた動画を製作し、実績報告書とあわせて提出する。

専修学校#知る専 (<https://shirusen.mext.go.jp/>)

##### 2) 内容

以下内容を約4分の動画に編集した

①取組体制 ②目的 ③取り組んだ事業説明 ④KPI ⑤これからの大阪

##### 3) 周知

製作した動画は、OSAKA留学生情報サイト内から閲覧可能とするとともに、その他各種留学生に関わるセミナーなどあれば、説明動画として積極的に使用する。

また、文部科学省ホームページ「専修学校#知る専 (<https://shirusen.mext.go.jp/>)

及びYouTube「知る専チャンネル」においてもぜひ公開して頂きたい。



大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2023 (令和5年度専修学校留学生の学びの支援推進事業) 2024年2月完成

## 2. 事業終了後に実施予定の取組及び成果の普及方策

これまでの大専各留学生委員会の活動は、このコロナ禍の中でも大きくふたつの成果があった。

1つは「まとまり」である。大専各の会員校の中で分野の違う様々な専門学校が集まり、ワーキンググループを設け、定例で留学生の様々なサポートについて議論を重ね、具体的な実行策に取り組んでいる。この活動はコロナ禍前から行っているが、その従来脈々と行ってきた活動実績があったからこそ、この混乱極めるコロナ禍でも十分に対応し、新たなワーキングメンバーまで加わる事ができた。

2つめはこの「まとまり」から「つながり」へ進展している点だ。大専各留学生委員会はワーキンググループが実働活動を積極的に行ってくれているが、そこから『留学生支援』という同じ目標を持つ外部団体とも積極的に『つながる』ことができている。大阪商工会議所、大阪観光局、留学生支援コンソーシアム大阪、Transcend-Learningとの積極的な関わりが増え、また大阪府や大阪出入国在留管理局とは意見交換を行う場を設けていくなど組織・団体活動ができている。

そしてこの骨幹たるものが、毎年受託している文部科学省委託事業である。企画立案している取組みは、「誘致広報」「教育支援」「就職支援」として3つに分けているが、まさしく留学生の時系列にそって考えると入口から出口までを支援する体系化であり、我々大専各留学生委員会が掲げてきた想いにつながる。

以上から我々、大専各留学生委員会が行ってきた活動内容を引き続き、広く発信していくことが重要だと考える。それはより具体的に考えるならば、他専各団体と何か取組みを連携する、報告会を行うなどあげられるわけだが、大専各では令和7年度(2025年度)の大阪・関西万博にむけ、令和4年度にTEAM EXPO2025共創パートナーに登録、共創チャレンジも申請・登録されており、これは活動内容を発信していくとことを加速させる取り組みともいえる。

留学生の受入れ、教育、就職といった支援は、大阪単体の問題ではなく、日本全体の話で考えるべきである。世界からみた時に「オール大阪」を「オール日本」へと留学生を受入れる教育機関がまとまる機会・情報として、引き続き取り組んでいきたい。

3.事業実施に伴うアウトプット

(1) 実施一覧

	取組	具体的内容	海外向け or 国内向け
A 誘致 広報	①入学前	【1】OSAKA留学生情報サイトの維持拡充 ①多言語化 ②課題発見のためのユーザモニタリング ③サイト内動線の改善 ④「留学生受入れ校一覧」の更新 ⑤YouTube動画特集ページの追加	海外/ 国内
	①入学前	【2】映像コンテンツの制作・配信 ①大阪の専門学校プロモーション動画 10種 ②大阪の専門学校プロモーション動画のダイジェスト版 1種	海外/ 国内
	①入学前	【3】SNSマーケティング ①ベトナム対象Facebookの運用 ②インドネシア対象Facebook+Instagramの運用 ③ネパール対象Facebookの運用	海外/ 国内
	①入学前	【4】進学情報カードおよびOSAKA留学生情報サイトへの誘引ツールの制作・配布 ①留学生採用検討企業向け誘引ツール ②日本語教育機関向け誘引ツール ③留学生受入れ校一覧 専門学校情報カード	国内
B 教育 支援	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	【5】市場動向調査 専修学校、日本語教育機関、企業、留学生、海外現地教育機関へのアンケート調査、 および分析報告書	国内
	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	【6】海外教育機関へのオンライン出前授業 2023年11月6日（月）～27日（月）（うち10日間）	海外
	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	【7】関西日本語学校・専門学校情報共有会 ①第1回 2023年6月30日（金） ②第2回 2023年10月23日（月） ③第3回 2024年1月30日（火） ・各開催の議事録報告書（3回）	国内
	②在学中（教育指導）、 ③在学中 （在籍管理・生活支援 サポート）	【8】専門学校教職員向けセミナー ①第1回 2023年8月24日（木） ②第2回 2023年10月26日（木） ③第3回 2024年1月25日（木） ・アンケート集計報告書（3回）・アーカイブ動画（3回）	国内
C 就職 支援	④就職支援等	【9】金融機関向け 留学生×専門学校勉強会 2023年10月3日（火） ・アンケート集計報告書（1回） ・アーカイブ動画（1回）	国内
	④就職支援等	【10】留学生インターンシップ企画 ①企画1 2023年8月～9月実施 ②企画2 企画1からの連動型 2023年11月実施 ・アンケート集計報告書（1回） ・アーカイブ動画（1回）	国内
	④就職支援等	【11】外国人留学生採用セミナー・交流会 2023年11月2日（木） ・アンケート集計報告書（1回） ・アーカイブ動画（1回）	国内
		【12】成果報告書	—
		【13】事業成果PR動画	—

(2) アンケート結果（抜粋）

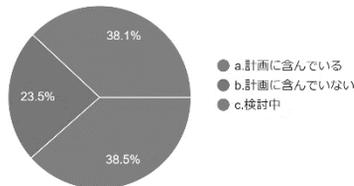
専修学校、日本語教育機関、企業、留学生、海外現地教育機関へのアンケート調査



<https://study-osaka.com/seika/>

1) 企業対象

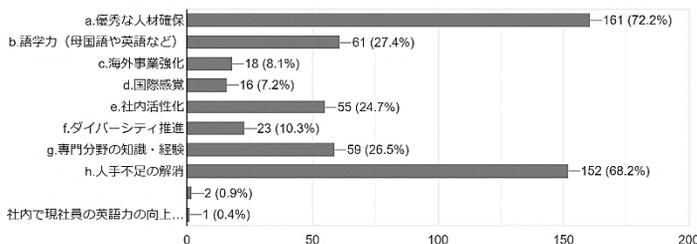
6. 専門学校を卒業する留学生の採用を、226件の回答 採用計画に含んでいますか？



**R4→R5で計画していないが増。但し、製造業・建設業・情報通信業では、「計画している」企業の割合が前年より増えている。**

R5 計画している38.5% / 計画していない23.5% / 検討中38.1%  
 R4 計画している40.6% / 計画していない14.3% / 検討中45.1%  
 R3 計画している24.3% / 計画していない30.8% / 検討中44.9%

8. 留学生の採用において、もっとも期待する成果...果はどんな点ですか？（複数回答可/3つまで）223件の回答

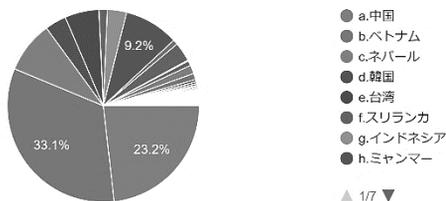


**R5追加の人手不足の解消が2位に。社内活性化の割合が減。**

各年度TOP3  
 R5 優秀な人材確保72.2% / 人手不足の解消68.2% / 語学力27.4% / 社内活性化24.7%  
 R4 優秀な人材確保84.6% / 社内活性化37.8% / 語学力33.0%  
 R3 優秀な人材確保84.1% / 社内活性化41.1% / 語学力34.6%

2) 留学生対象

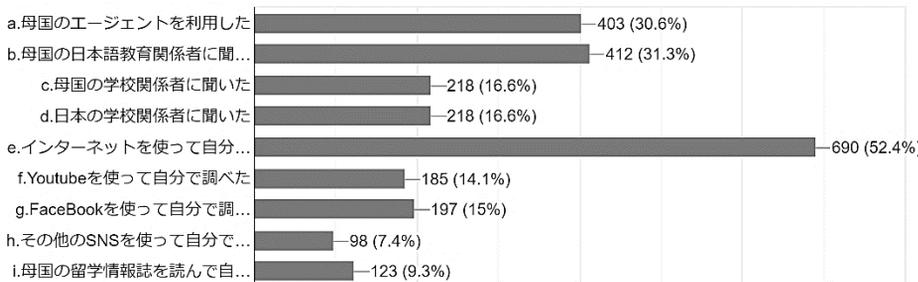
A. 出身国・または地域 1,337件の回答



**中国ベトナムで56%**

R5 中国23%、ベトナム33%  
 R4 中国24%、ベトナム23%  
 R3 中国20%、ベトナム36%

5. どうやって日本留学の情報を調べましたか？（最大3つまで選んでください）1,316件の回答

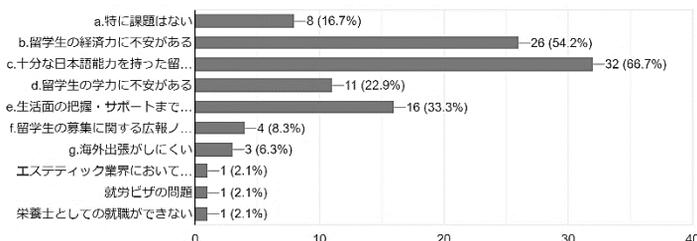


**インターネットを使って自分で調べたがTOPで52.4%**

R4と比較するとエージェント利用が21.3%→30.6%と増  
 SNS利用もそれぞれ5%前後伸びている

3) 専門学校対象

5. 留学生受入についての課題を教えてください。（複数回答可/3つまで）48件の回答



**R4と比較して日本語能力の課題が増、経済力への不安も増**

R5 1. 十分な日本語能力を持った留学生が少ない 66.7%  
 2. 留学生の経済力に不安がある 54.2%  
 R4 1. 留学生の経済力に不安がある 47.8%  
 2. 十分な日本語能力を持った留学生が少ない 44.9%  
 R3 1. 十分な日本語能力を持った留学生が少ない 72.3%  
 2. 経済力に不安がある 38.3%

### 専門学校教職員向けセミナー

#### 今こそ考える留学生支援 -ポストコロナにおける新しい潮流の変化- ～ネパール学生急増にどう対応するか～

主催：一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）

協力：清風情報工科学院 ポプラ介護福祉学校

日時：2023年8月24日(木) 15:00～16:30

開催方法：（会場参加）アクセス梅田フォーラム開催（先着30名）

（オンライン参加）ZOOM によるオンラインセミナー

参加費：無料

対象者：専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員

開催要項：

ポストコロナの留学生市場において、ネパールからの留学生が急増しております。来年度からネパール学生の専門学校進学が激増が予想される中、彼らを正しく理解することが募集や学生生活において適切な対応につながるものと考えます。第1回はネパール学生募集をテーマに、専門学校、日本語学校、留学生それぞれの視点からリアル・オンラインのハイブリッドにて開催します。

プログラム：

司会 大阪YVCA専門学校 中山 羊奈

<学校紹介・募集・教育 に関する取り組み事例発表>

- ・清風情報工科学院 日本語科 校長 平岡 憲人
- ・ポプラ介護福祉学校 事務局渉外担当 谷 久美

<トークセッション ～急増するネパール人学生にどう対応するか～>

- ・清風情報工科学院 日本語科 校長 平岡 憲人
- ・ポプラ介護福祉学校 事務局渉外担当 谷 久美
- ・ネパール人元留学生 シュレスタ・プジャン

ファシリテーター：ECC国際外語専門学校 白石 一幸

■質疑応答

■大専各からのご案内

## 参加者数

申込者数：219名（会場／10名 オンライン／209名）

（専門学校／183名 日本語学校／20名 大学／6名 行政・団体・企業／10名）

※詳細は次ページ参照

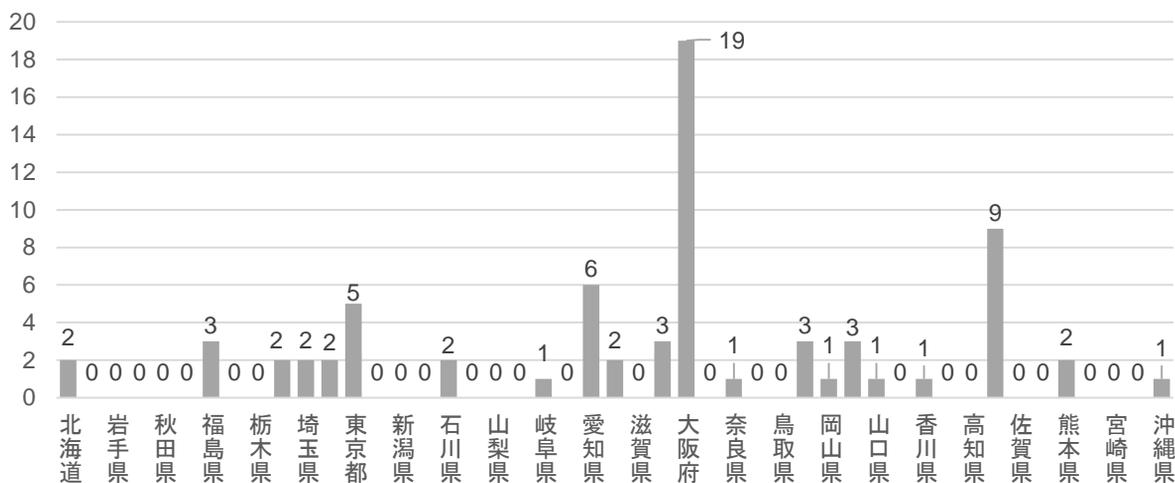
参加者数：171名（会場／4名 オンライン／167名）※ホスト、パネリストを除く

オンライン平均視聴時間：81.9分

## アンケート回答者数71名

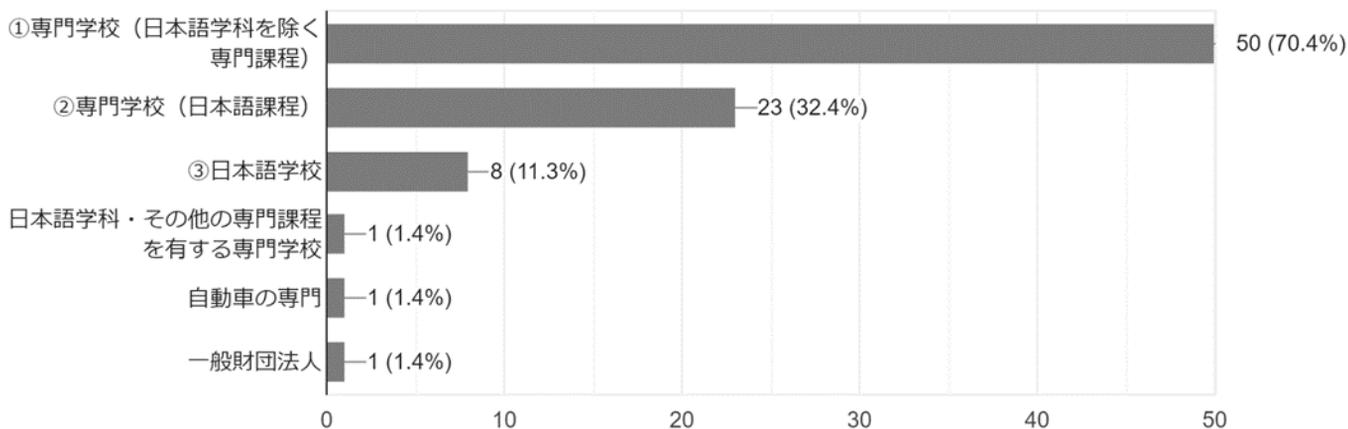
Q1. 学校所在地を教えてください。（回答71）

人数



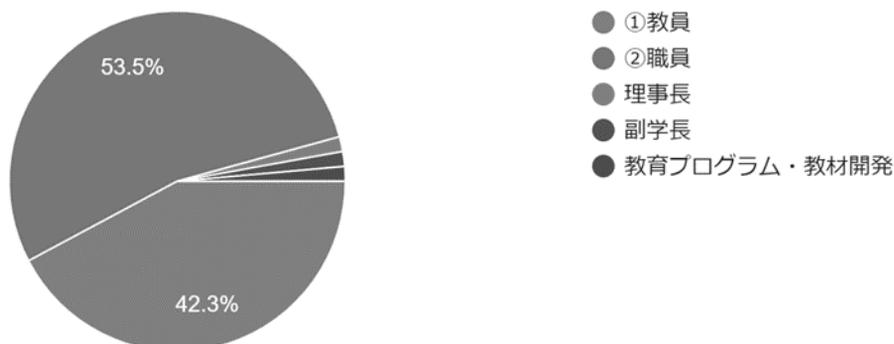
Q2: どの教育機関に所属されていますか？（複数回答可）

71件の回答



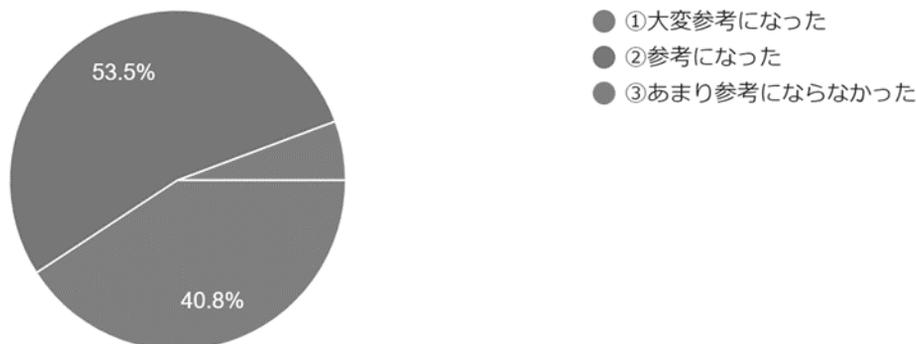
Q3: 学内の業務についてお答えください。

71件の回答



Q4-1: プログラムについて感想をお聞かせください。【①学校紹介・募集・教育に関する取り組み事例発表】

71件の回答

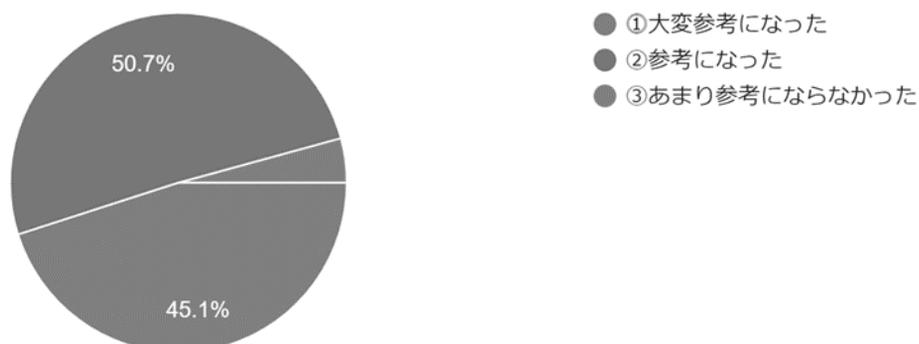


Q4-2. プログラム【①学校紹介・募集・教育に関する取り組み事例発表】について意見がございましたらご記入ください。（自由記述）（回答19）

- ・リアルな学校の先生の声が聞けよかったです
- ・100%アルバイト先斡旋、就職先もほぼ決まっているというのは、留学生もそれを承知で来日するのでよいと思いました。
- ・留学生の募集に関する創意工夫について理解できた。
- ・選考試験のやり方について大変参考になりました
- ・入試の取り組みが参考になりました
- ・学校紹介がメインになっていたので、各校が取り組んでいる内容をもっと聞きたかった。
- ・2校とも分かりやすい紹介でした。
- ・採用試験の内容等が参考になった。
- ・各校の取り組み、非常に参考となりました。併せて、ネパール人に対して様々なイメージをお持ちなのは、どなたも一緒なのだと感じました。
- ・大変参考になりました。参考になったため、もう少し詳しく聞きたいなと思いました。
- ・学校の様子と、取り巻く状況がよく分かった上で話が聞けた
- ・現地開設まで行えていることが、素晴らしいと思う
- ・学校紹介が長すぎた。ネパールのことをもっと深く聞きたかった
- ・各校の取り組みについて、もう少し具体的なことを教えていただけるとなおよかったです。
- ・来年度の募集で大阪を含めた関東圏以外からの非中国・ベトナム人の出願が増加しているので、大阪の話が聞けて大変参考になった。
- ・学生の選考方法についての工夫など大変参考になりました。
- ・募集に関する取り組みや授業については、同感です。ヒンズー教の神様と日本の神様の名前はとても参考になります（神様の名前が名前になっている人が多いので）。
- ・ネパール人学生に対して効果的な授業の方法など受け入れにあたって実際に取り組まれた事例を伺うことができ参考となりました。
- ・ポプラ介護福祉学校において、留学生の語学力を測る試験のやり方を具体的に紹介していただき参考になった。

Q5-1:プログラムについて感想をお聞かせください。【②トークセッション  
～急増するネパール学生にどう対応するか～】

71件の回答



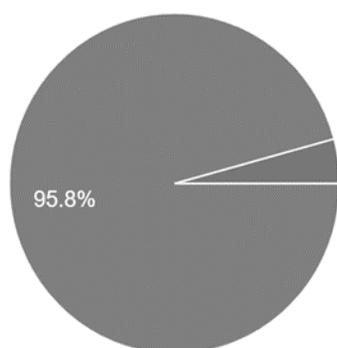
Q5-2. プログラム【②トークセッション ～急増するネパール人学生にどう対応するか～】について  
意見がございましたらご記入ください。（自由記述）（回答25）

- ・元留学生の方のお話が聞け、よかったです。
- ・国ごとに特集を組むことで、より地域について理解が深まると思った。同様のテーマで実施していた  
だけだと参加したいなと思えそうです。
- ・ネパール人の本音の部分が少し理解できた
- ・ネパール学生の本音をもっと知りたかった。
- ・時間が短すぎると思った。学校紹介よりもトークセッションに時間を取ってほしい。
- ・プジャンさんの話が良かったです
- ・入試についてのカタカナ50音かけるか、動画を見てどんな内容だったかなどは興味深かった。
- ・ネパール人留学生というのは、全くにミステリーゾーンでしたが、理解が深まってよかった。
- ・まだまだ話を聞きたかったため、もう少し長い時間の設定をしていただきたかった。
- ・もう少し、具体的にどんなことが他の国籍の学生と違うのか、また、そのようなことに対し、どのよ  
うな対応をされているか、を伺えたらありがたかったです。
- ・大阪の許可率が高いことはなぞですが、見極めは必要。
- ・ネパール人の本音が聞きたかった。
- ・ネパールの教育制度、学校選びのポイント、入学試験の内容等、とても参考になりました。
- ・生の声を聴くことができました。ボディータッチは先生がネパール人学生にはいけないのか、少  
し混乱してしまいました。
- ・ネパールの学生から直接問題点が語られたのがとても勉強になった。ネパールだけではなく、他の国  
の学生に当てはまる部分もあるので参考にしたい。
- ・当校でも同じような現状である。COE申請書類での家族構成に疑問があったが、今日のセッション  
で納得した。
- ・ベトナム人が増える前はネパール留学生が多かったので、カースト制度などの考え方の違いで対  
処に苦慮したことを思い出した
- ・ひとりだけでしたが、ネパール人の生の声が聴けて良かった。日本人にとってタブーでないことが  
外国人にとってタブーであったり、また逆もあり得るので、来日前の文化教育や受け入れ前の情報収  
集は必須で行わなくてはいけないと感じた。
- ・他の国との違いがわからない。これまでのネパール以外の留学生との受け入れに違いがあるか、わ  
かりません。
- ・ネパールの実態がわかりよかったです。
- ・現場の生の話が中心で興味深く拝聴させていただきました。しかしながらネパール人の急増について  
の回答はあいまいなままで、大阪入管の認定申請交付率が以上に高い理由を知りたかった。

- ・ネパールの教育制度(私立か公立か、入学年齢、プラス2の卒業試験制度など)についてぜひ続編をお願いしたいです。
- ・急増するネパール学生についてですが、地域差もあるかと思いますが、東海地区の日本語教育機関ではもう少し前から（おそらく10年ぐらい前から）徐々に増え始め、ベトナムを一気に追い越して8割、その他インドネシア、スリランカ、と他バングラ、ミャンマーなどが最近増えてきているのかと思います。
- ・お互いの文化を理解し、尊重することは大事だと思います。入国時から、生活やルールを押し付けるような説明や指導ではなく、どうしてそのようなルールや規則があるのかを理解してもらえるよう努めています。学校の授業への動機づけとして、その期の新入生が入学したら、早目に進路の話をしています。進学に関しては、学費、奨学金、推薦と言ったことに敏感で、出席や授業態度が変わるように感じています。
- ・ネパール国内の様々な事情や元留学生の経験など、今後受け入れを開始するにあたって基礎情報となる話を伺うことができ良かったと思います。

Q6-1:実施時間帯について意見をお聞かせください。

71件の回答



- ①ちょうどよい時間帯だった
- ②違う時間のほうが参加しやすかった

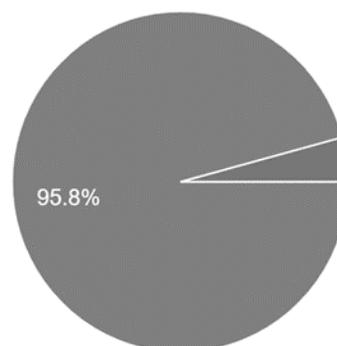
Q6-2

「②違う時間帯のほうが参加しやすかった」と回答した方にお伺いします。参加しやすい時間帯をご記入ください。（自由記述）（回答3）

- ・午後4時半開始
- ・17:00
- ・午前だと10:30 午後だと1時からが参加しやすい

Q7:本セミナーは、今後も定期的にシリーズ開催を予定しています。次回以降も継続して参加したいと思いますか？

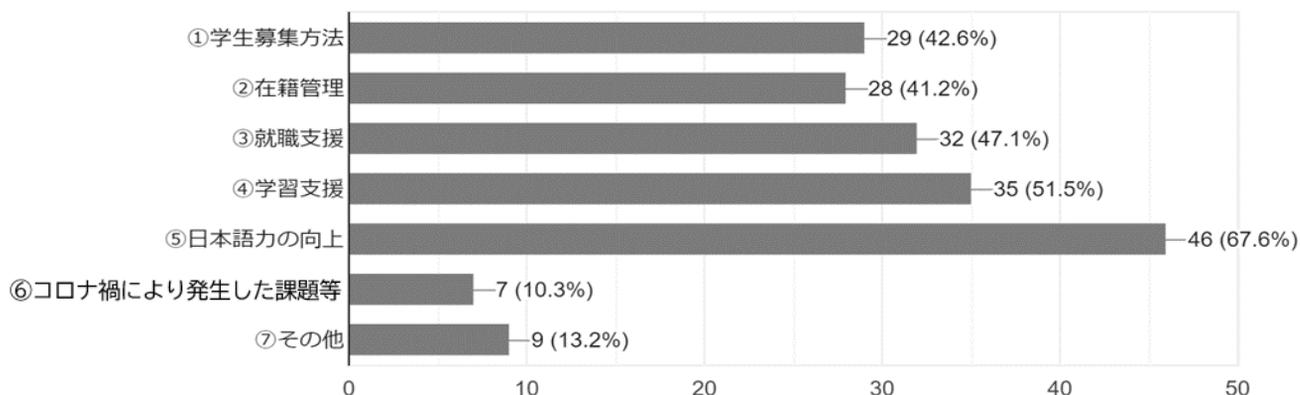
71件の回答



- ①はい
- ②いいえ

## Q8-1:「留学生支援」において、課題やお困りの点はありますか？（複数回答可）

68件の回答



Q8-2. 上記8-1「⑦その他」と回答した方にお伺いします。具体的な課題やお困りの点がございましたらご記入ください。（自由記述）（回答9）

- ・ 学費未納
- ・ アルバイトの紹介
- ・ 生活支援（生活習慣）
- ・ 学生が急に増えたことで、学生の住居の確保に困っています。経済的に、個人で不動産との契約をするのはほぼ不可能だと考えています。学生寮だけでは対応が難しい場合はどのようにサポートをされているのでしょうか？
- ・ 生活態度、アルバイトを勝手に休む等。
- ・ 受け入れ留学生に結核に罹患している学生がちらほら見られるようになってきた。厚労省でも入国前結核スクリーニングの実施に向けて整備中ですが、ほかの教育機関ではどのようにご対応されているのか気になります。
- ・ 1週間28時間の資格外活動でいかに学費・生活費・社会保険等の滞納がないよう指導されているか。
- ・ 生活についてのサポートや指導（寮の使い方）
- ・ オーバーワークの指導

Q9. 今後、取り上げてほしいテーマがございましたらご記入ください。（自由記述）（回答11）

- ・ 就職について、特定技能について
- ・ MYANMAR人学生について
- ・ 日本語学校とのかかわりかた、現地に学校を置いている学校の意見など
- ・ オンライン授業における著作権について
- ・ 留学生同士の意見交換。「今後の日本での生活、将来について」どう考えているのか
- ・ ネパールに続き、ミャンマーもぜひお願いしたいです！
- ・ 現地の協力業者とのつながりについて。
- ・ 効果的な入学試験の実施（優秀な学生を選抜する為に、各専門学校がどのような入学試験を実施されているのか）
- ・ 複数の国の留学生のセッション
- ・ 今回のように元留学生の所感を聞ける機会はありがたいと思います。当然、自校の卒業生からは聞くことができますが、一般的な意見もお伺いする機会があれば幸いです。また、ECC様のグループ校が取り組まれている大阪の高校生の方々と観光案内体験プログラムの取り組みについてお伺いできるチャンスがあればうれしいです。「留学生」×「日本人学生」との交流の場づくりの取り組みについてです。
- ・ 送り出す側として留学生の受け入れ側（就職先）での課題や受け入れをしてよかったこと（他の日本人社員に与える影響）、求められること。

Q10. 本セミナーに関するご意見・ご要望がございましたら記入ください。（自由記述）（回答12）

- ・ありがとうございました。（2件）
- ・お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。
- ・3名とも様々な角度からの意見で学ぶことが多かった
- ・お世話になりました。
- ・最後まで興味深く拝聴させていただきました。
- ・年々、ネパールからの問い合わせが増えていましたので、たいへん興味深い内容でした。ありがとうございました。
- ・初めて参加させていただきました。他校様の経験を教えていただき、今後の参考になりました。ありがとうございました。
- ・いつもリアルな現状や取り組みについて共有いただき大変勉強になります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・ネパールの学生が急増、問い合わせの数が異常な状況で、対応のヒントや、現地の状況に関する情報が頂けると思って参加したが、悩みの共有のような形だったので、期待していた様な内容ではなかった。次に期待したいです。

### セミナー中にあがった質問（チャット等）

- ・ネパール人留学生のCOE（在留資格認定証明書）交付率はいかがでしょう。東京の交付率が悪く、一気に大阪への問い合わせが増えた感じでした。
- ・ネパールの学生さんが留学先の日本語学校・大学・専門学校を選ぶうえで、重視するポイントとは何でしょうか？
  - ・教育内容
  - ・在学中の生活サポート
  - ・学費
  - ・校舎の場所（東京/大阪、都心/郊外 など）
  - ・就職実績
  - ・卒業生/在校生の国籍比率
  - ・ロコミなど、色々な要素があると思います。  
中でも特に重視するポイントがあればお伺いしたいです。
- ・質問ではないですが、情報として、10クラス卒業後3年の専門学校入る学生もいます。高校（+2）か専門学校3年（CTEVT）卒業生は来日申請可能です。
- ・日本語能力検定N3合格をしている留学生が介護福祉の勉強についていけるんですか？
- ・プジャンさんにお尋ねします。  
ネパール国内では、社協の介護福祉士修学資金貸付制度は良く知られていますか？
- ・ネパールの銀行について教えて欲しいです。銀行にランクがあると聞きました。
- ・ボディータッチなどは日本人の先生がネパール人の学生にしてはいけないという認識でしょうか。
- ・ネパールの政府が数か月前の語学留学を認めないということがありました。もし来年4月以降語学留学を認めなかったらネパールからの留学生が来れなくなります。ネパール人留学生だけがに頼りにしてはいけないと思いますが？その辺はどう考えているんですか？

## 令和5年度 文部科学省委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

## 「外国人留学生採用フォーラム」

～多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性～

ポストコロナとして、新たなビジネスチャンスや革新的なアイデアの創出など経済は活性化しています。あらゆる業界・企業が今後の成長を模索している中で、人材採用は重要な取り組みのひとつです。本フォーラムでは外国人留学生に焦点をあて、これからの多様化する社会で新たな価値をつくりだす人材として、外国人留学生の価値を再発見していきます。

日 時：2023年11月2日(木) 15:00～17:50

主 催：一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会（大専各）

共 催：大阪商工会議所 大阪外国人材採用支援センター（公益財団法人大阪産業局）

協 力：留学生支援コンソーシアム大阪 関西経済連合会 アジアビジネス創出プラットフォーム人材育成活用部会 大阪出入国在留管理局 一般社団法人Transcend-  
Learning 一般社団法人 外国人留学生高等教育協会

後 援：大阪府 近畿経済産業局 独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部

開催方法：会場+ZOOMによるオンラインセミナーのハイブリッド開催

会 場：大阪私学会館4F（〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20）

参加費：無料

定 員：会場150名 オンライン300名

対 象 者：①企業の経営者・人事担当 ②専門学校、各種学校、日本語学校の教職員  
③専門学校に在籍する外国人留学生

## プログラム

司会 近畿社会福祉専門学校 岡田 智幸

### <挨拶>

文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室 専門官 望月 香里  
 （一社）大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 富永 桂多

### <第1部>トークセッション

#### 「多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性」

学校法人 敬心学園 理事長 / （一社）外国人留学生高等教育協会 代表理事 小林 光俊  
 学校法人 エール学園 総長 長谷川 恵一  
 学校法人 福岡成蹊学園 理事長 岩本 仁

進行：大専各 留学生委員会委員長 山下 裕貴

### <第2部>活動中間報告

#### 「SDGsをテーマにした留学生インターンシップ」

（一社）Transcend-Learning 理事 吉田 圭輔

### <第3部> 留学生プレゼンテーション

#### テーマ「私の就職活動」

エール学園 NGUYEN THI THANH VAN（ベトナム）  
 大阪YMCA国際専門学校 NGUYEN HUNG MAU LAM（ベトナム）  
 修成建設専門学校 王 金正（中国）  
 日本理工情報専門学校 李 壘（中国）

進行：大阪YMCA国際専門学校 立山 英展

### <閉会の挨拶>

大阪商工会議所 人材開発部 次長 田中 剛

### <第4部>情報交換会（名刺交換会） 会場参加者のみ

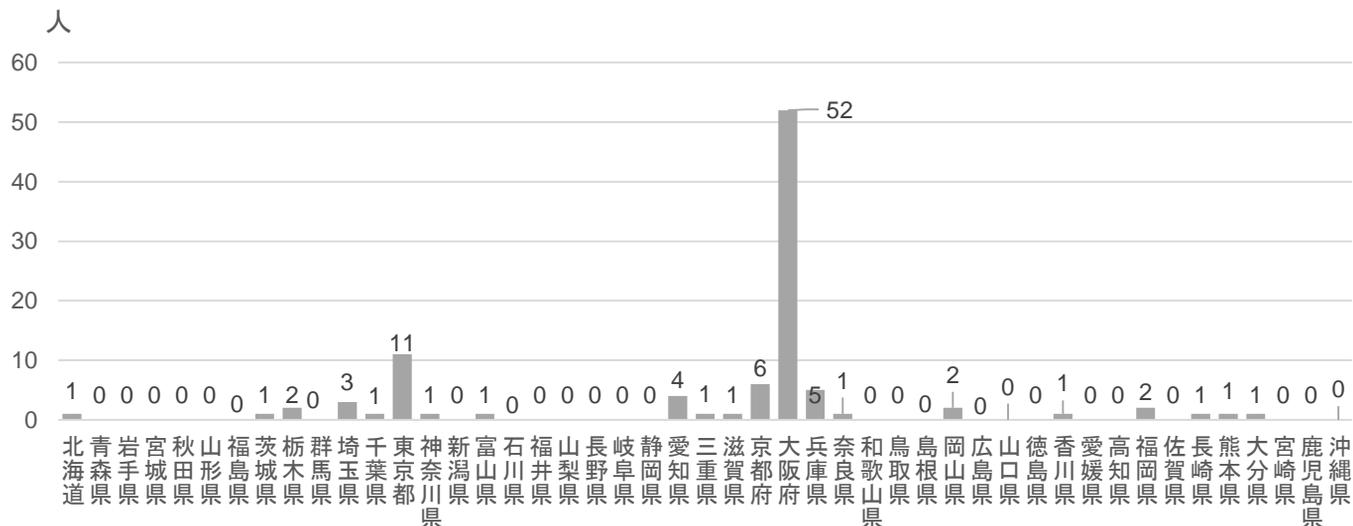
## 参加者数

合計：183名（会場／59名 オンライン／124名）

（企業／78名 教育機関／92名 留学生／0名 その他／13名） ※ホスト、パネリストを除く

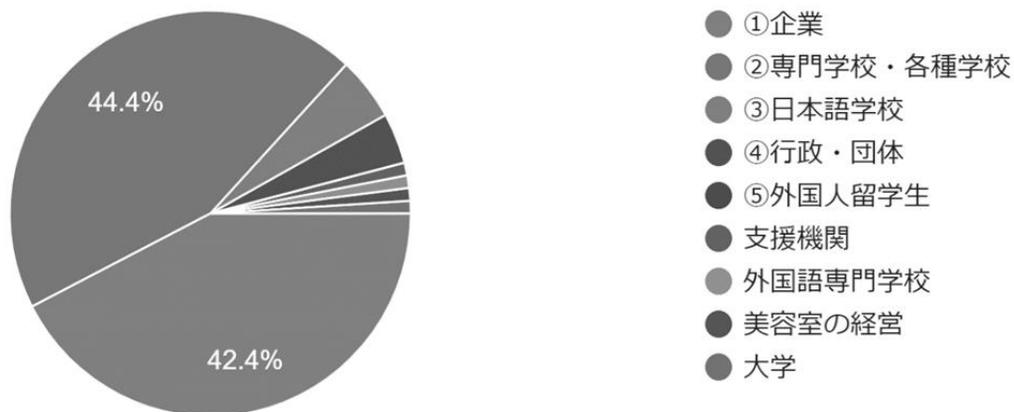
## アンケート回答者数99名

Q1. 学校所在地を教えてください。（回答99）

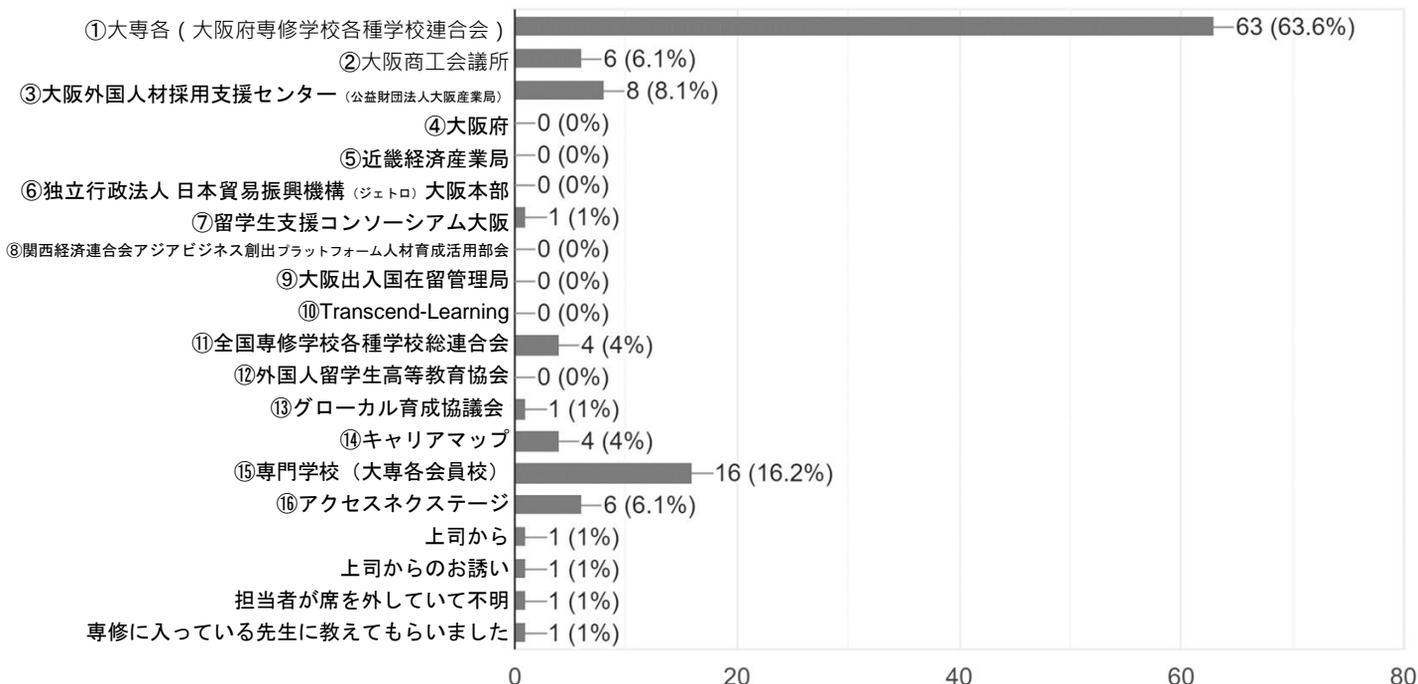


Q2:ご自身の所属についてお伺いいたします。

99件の回答

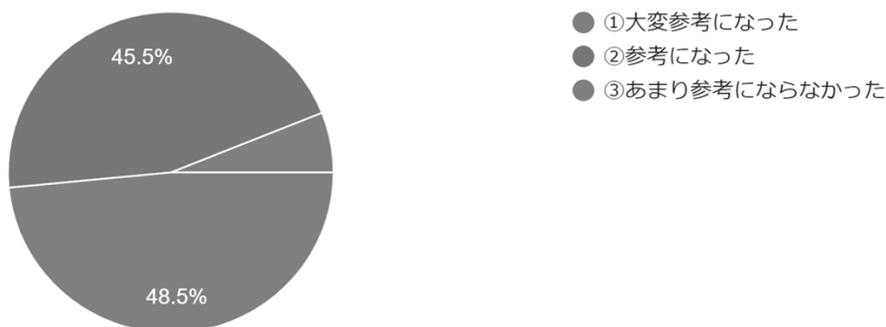


Q3:本フォーラム開催はどの団体・企業からの案内で知りましたか？（複数回答可）（回答99）



Q4-1:第1部 トークセッション「多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性」について感想をお聞かせください。

99 件の回答



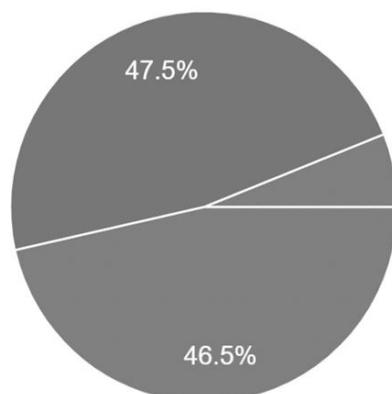
Q4-2:第1部 トークセッション「多様性が求められる社会における外国人留学生の可能性」について意見がございましたらご記入ください。（自由記述）（回答21）

- ・これから、支援団体としてどういう対応が必要かしっかり考えたいと思いました。
- ・海外の高等教育機関の留学生の割合を知れたこと。
- ・ありがとうございました。
- ・専門学校を卒業した留学生の就職の業種の拡大についてお聞きしたかった。
- ・少し長いと感じてしまいました。
- ・全体感がよくわかった。
- ・留学生100万人計画に向けて、専門学校教員の立場として身の引き締まる思いです。
- ・2~3年以内に留学生40万人とのお見立て、まさにそうなのだろうと首肯致しました。ただその場合、留学生の日本語教育はどうなるのだろうかかと肌寒い思いがしました。
- ・話される内容全体の中で、ご自身の説明部分が長く趣旨から少し外れているようにも感じました。

- ・これから東京だけでなく大阪、福岡など地方都市にも多くの外国人留学生が来日し、大学や専門学校など受け入れ側の整備として外国人留学生への理解ある教員の採用も重要だと感じました。
- ・外国人の労働力が必要と思った
- ・現状の色々な事をお聞きすることができて良かった
- ・様々な角度からのコメントが大変参考になりました
- ・将来の留学生数の見通しについては参考になりました。
- ・留学生採用に関心の高い企業が大変多くいらっしゃいますので、今後の留学生の傾向なども知れる大変良い機会でした。もっと企業さまにフォーラムを知っていただけるように周知活動に尽力します。
- ・長谷川総長のお話は厚みがあって良かった。
- ・大変参考になりました。有難うございました。
- ・貴重な話をお聞きすることができた
- ・各地域の外国人事情を知ることができました。
- ・留学生採用をすすめていけるようビザ取得の制限など緩和してほしい
- ・日本の人口減少が答えだと思います。

Q5-1:第2部 活動中間報告「SDGsをテーマにした留学生インターンシップ」について感想をお聞かせください。

99 件の回答



- ①大変参考になった
- ②参考になった
- ③あまり参考にならなかった

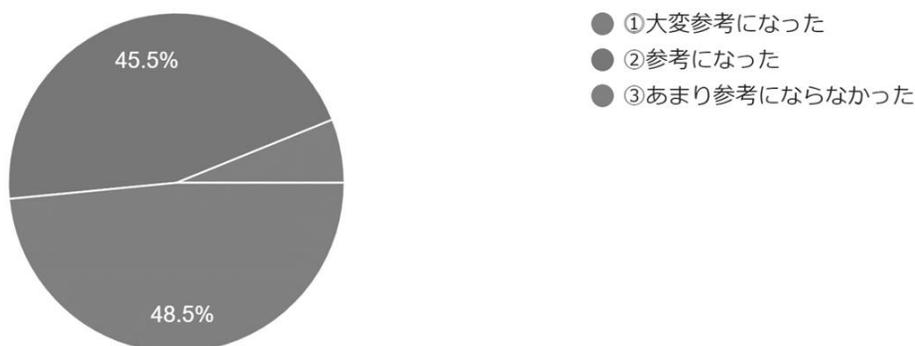
Q5-2:第2部 活動中間報告「SDGsをテーマにした留学生インターンシップ」について意見がございましたらご記入ください。（自由記述）（回答15）

- ・とてもわかりやすい説明でした。発表会参加したいと思います。
- ・勉強になりました。
- ・留学生の特徴の分析が興味深かった。
- ・プレゼンされた資料をいただきたい。書き写す時間が足りなかった。
- ・とても感動しました。岡山でも同様な取り組みができたら良いと思いました。
- ・外国人留学生のWillがあふれて日本企業のMUSTとマッチしない問題は実感しております。学生でも職業体験できる場を増やすにはどうしたらよいか？教育に理解ある企業を見つける難しさを感じております。
- ・最後成果発表会に参加したいと思った
- ・すごく勉強になるインターンとは思いますが、アルバイトや課題で忙しい留学生からすると、長期のインターンの参加はすごくハードルが高いのではと感じました。
- ・多くの企業がインターンシップを実施する環境整備が必要と思います。
- ・留学生の就労にあたってのモチベーション確保の方法など話が具体的で参考になった。
- ・大変参考になりました。有難うございました。

- ・留学生の方々の特性が聞けてよかったです。
- ・大変参考になりました。
- ・より多くの留学生を日本へ

Q6-1: 第3部 留学生プレゼンテーション「私の就職活動」について感想をお聞かせください。

99件の回答

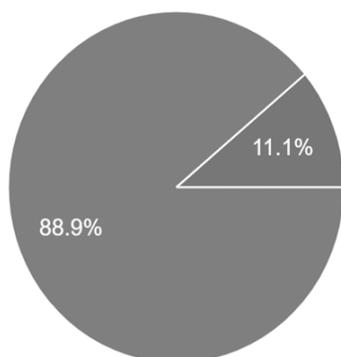


Q6-2: 第3部 留学生プレゼンテーション「私の就職活動」について意見がございましたらご記入ください。（自由記述）（回答23）

- ・登壇者皆さんの努力が伝わりました
- ・楽しく拝聴いたしました。ありがとうございました。
- ・みなさん、頑張っているなと思った。
- ・留学生の就職活動の大変さが分かった。
- ・なにをされていたかがよくわかった
- ・留学生の日本語力、コミュニケーション力が向上する様に、我々教員も努力して参ります。
- ・他の分野の職業に興味がわかかなかつたのか？といった観点のご報告もあればよかったですと思います。
- ・第1部の時間を少し減らして、第3部の人数を増やす等して頂ければと思います。
- ・当校の学生と同じような考え、日本語力を持った方々の発表で非常に親近感がわきました。
- ・語学力が大切だと感じた
- ・留学生の方々の就活が参考になった
- ・留学生の体験談は大変参考になります。
- ・王さんの発表（学び直し）
- ・自分の特性を活かした仕事に就く方や、実習生からの再来日の方など様々な分野で活動が聞けて大変参考になりました。
- ・第3部にもっと時間を割いてもよかったですのではないかと？留学生の生の声を更に深掘りして聞きたかった。
- ・各人の待ち時間が短く、深みにかけた。あのセッションを設けるならもう1、2回ターンのできる時間配分が望ましかった。
- ・大変参考になりました。有難うございました。
- ・留学生のみなさんのリアルな話が聞けてとてもよかったです。
- ・皆さん日本語が上手でした。私も就職支援を行っているので、参考になりました。
- ・皆さん、頑張っていて練習した成果が出ていたと感じ、大変素晴らしかった。
- ・とても素敵なプレゼンテーションでした。私たちだけじゃなくて、今学習中の生徒たちにも聞かせてあげたかったです。
- ・留学生の方がどんな事に苦戦しながら、就職活動を行っているかを知ることが出来ました。学生さんにとって負担の少ない選考フローを構築する良い学びを得ることが出来ました。

Q7-1:実施時間帯について意見をお聞かせください。

99件の回答



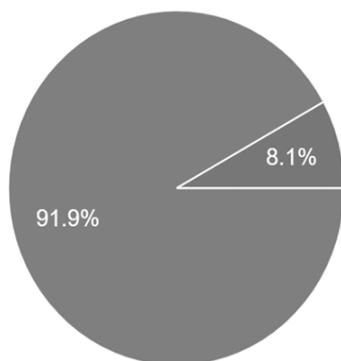
- ①ちょうどよい時間帯だった
- ②違う時間のほうが参加しやすかった

Q7-2:Q7-1で「②違う時間帯のほうが参加しやすかった」と回答した方にお伺いします。参加しやすい時間帯をご記入ください。（例：午前10時開始）（自由記述）（回答7）

- ・ 17時頃までに終わるスケジュールがよかった。
- ・ 午前10時開始が参加しやすいです
- ・ 午前中
- ・ 17時までに終わる時間帯の方がありがたいです
- ・ できるだけもっと早い時間参加したかったです。
- ・ 時間が長かった
- ・ 14:00～16:00

Q8:本フォーラムを次年度も開催した場合、参加したいと思えますか？

99件の回答



- ①はい
- ②いいえ

Q9:今後、取り上げてほしいテーマがございましたらご記入ください。（自由記述）（回答21）

- ・ 専門学校で内定をもらった留学生にアンケートを取って、傾向を分析して話し合う。
- ・ 留学生入社後の定着率やキャリアパス、企業応募時にどういったフォローや情報提供があると良いか、留学生は就活情報をどのように（どこから）収集しているか。
- ・ 留学生用求人開拓について(N3レベル)
- ・ 専門学校から特定技能への在留資格変更について。（技人国を獲れない学生の対応として）
- ・ 外国人採用について企業がすべきこと
- ・ 留学生採用における企業側の求めることなど
- ・ 留学生の希望する職種・業界のパーセンテージ等について

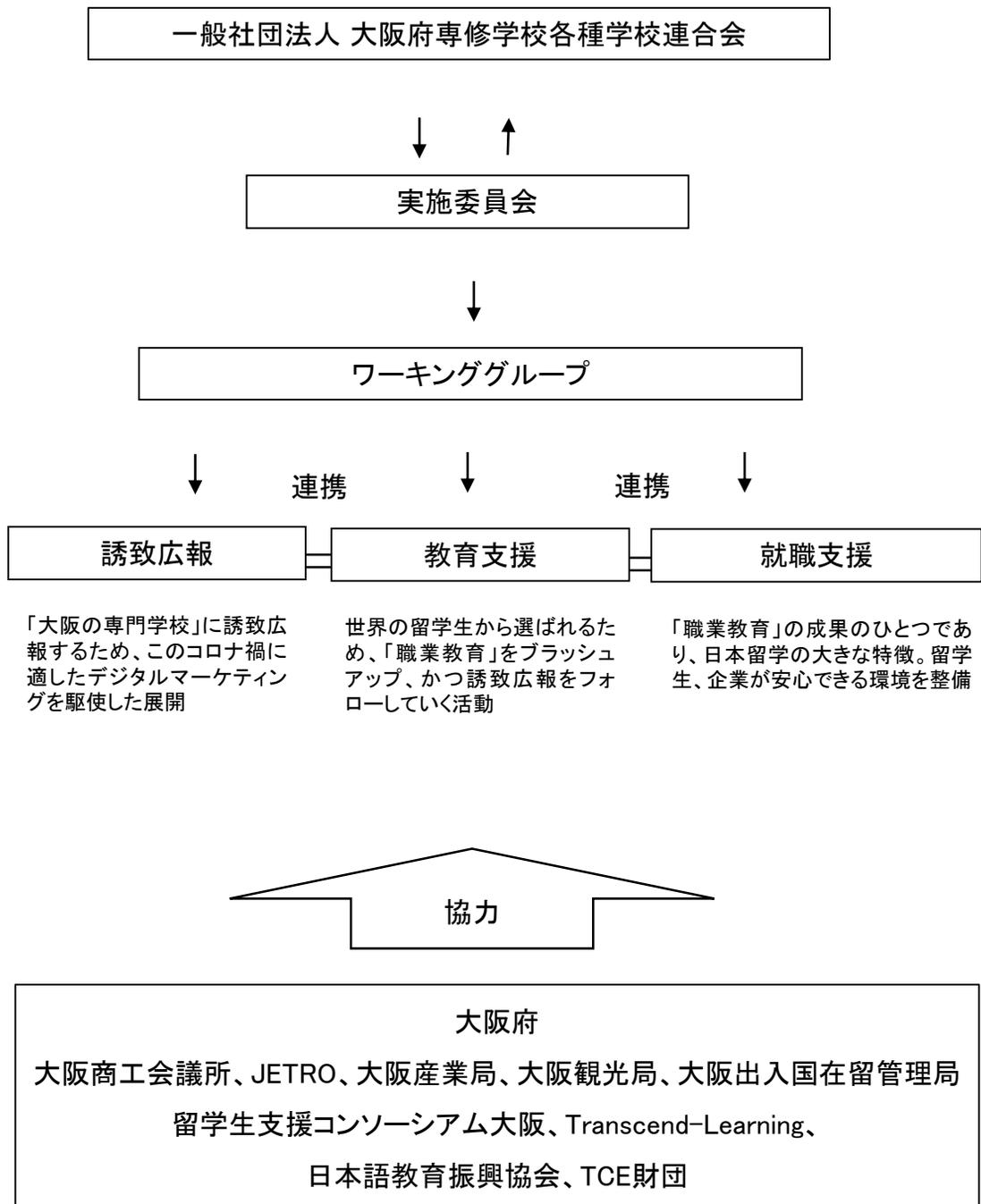
- ・ビジネス系の学科に対して（飲食や小売り以外の）連携企業の見つけ方や、学校設備として職業体験につながる教室（授業）づくりといったテーマ
- ・日本語能力が不十分な学生のための就職活動
- ・就職をするためのやり方。
- ・調理・美容・医療分野の留学生の話が聞きたい。
- ・就活の時期
- ・留学生が就職活動に際して困った点
- ・専門学校からいかに自校留学生を日本企業に就職させたかの苦労話を聞きたい。例えば受け入れ後の留学生、企業、学校とのコミュニケーションギャップによるトラブルなど。
- ・日本語教育機関認定制度について。新日本語教育能力検定試験について。
- ・外国人の人数が日本語学校の人数が増えると増えるというお話があったので日本語学校から専門学校への進学の流れについてもお話が聞きたいです。
- ・学校の学生支援について各学校の取組みのシェア
- ・特定技能の活性化による、専門学校留学生募集への影響についての現状と動向について知りたいです
- ・出席企業様は、留学生の雇用方法などについて聞きたいのではないのでしょうか？
- ・どのように企業に外国人雇用を勧められるか。（栃木は留学生の受入れ数が非常に少ないです。）
- ・留学生の就活のサポートの仕方など

Q10:本セミナーに関するご意見・ご要望がございましたら記入ください。（自由記述）（回答17）

- ・いつも有意義な機会をありがとうございます。
- ・先生方の資料はある程度配布いただければ、自習するのに役立ちます。ご検討ください。
- ・会場の音声はまったく聞こえなかった。
- ・人材不足の観点からも含め、あらゆる情報を発信して頂ければ幸いです。
- ・とても参考になりました。貴重な場と提供いただきありがとうございます。
- ・ありがとうございました
- ・次年度も、このセミナーを継続してください。
- ・大阪、関西で留学生の教育や就職支援の実績とノウハウある学校と先生のお話が聴きたい。
- ・WEB参加させていただきましたが、音声も画像、画質、登壇者やスライドに切り替わるタイミングもよくてとても見やすい聞きやすいフォーラムでした。時間が長いかなと思っていましたが終わってみるとあっという間でもう少し聞きたいと思うことがたくさんありました。日本の中でも東京大阪福岡で動きが違うことも興味深かったです。
- ・大変参考になりました。また機会がありましたら是非参加したいと考えております。
- ・とても参考になる部分がありました。ありがとうございます。
- ・座席指定などで実施すると、情報交換会の時に、名刺交換がしやすいかな？と思いますがいかがでしょう。
- ・オンラインだから参加することができました。今後もオンラインでの参加できるようお願い致します。
- ・人口の多い地域でも外国人受入れ企業が少なくと聞き、日本の移民受け入れ態勢が遅れていると感じました。企業訪問をする機会もあるので、微力ながらどんどん外国人雇用を勧めようと思います。
- ・採用する側が求める人物像などを具体的に伺う機会があるといいと感じる。
- ・フォーラムで使用された資料（スライド）が後から見られたらよかったのになと思いました。

4. 事業の実施体制

(1) 実施体制



## 第2章：個別事業の実施内容

### (2) 構成機関等

#### ①教育機関

(順不同)

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1	ECC国際外語専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
2	上田安子服飾専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
3	エール学園	企画・説明・実施	有	大阪府
4	大阪工業技術専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
5	大阪コミュニティワーカー専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
6	大阪総合デザイン専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
7	大阪調理製菓専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
8	大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA	企画・説明・実施	有	大阪府
9	大阪バイオメディカル専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
10	大阪文化国際学校	企画・説明・実施	有	大阪府
11	大阪ベルェベル美容専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
12	大阪YWCA専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
13	大阪YMCA国際専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
14	関西外語専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
15	関西経理専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
16	近畿社会福祉専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
17	修成建設専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
18	駿台観光アンド外語ビジネス専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
19	清風情報工科学院	企画・説明・実施	有	大阪府
20	中央工学校OSAKA	企画・説明・実施	有	大阪府
21	日本メディカル福祉専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
22	日本理工情報専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
23	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪	企画・説明・実施	有	大阪府
24	森ノ宮医療学園専門学校	企画・説明・実施	有	大阪府
25	ポプラ介護福祉学校	企画・説明・実施	有	大阪府
26	大阪観光ビジネス学院	企画・説明・実施	有	大阪府
27	ホーチミン市師範大学	企画・説明・実施	有	ベトナム

#### ②企業・団体

(順不同)

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
1	清水 尚道	大阪府専修学校各種学校連合会 理事長	実施委員長	有	大阪府
2	小林 幸治	大阪商工会議所人材開発部 部長	事業協力・助言	有	大阪府
3	齋藤 考宏	公益財団法人大阪産業局 HR戦略部 部長 兼 大阪府よろず支援拠点 統括プロデューサー 兼 大阪産業創造館 経営相談室 統括プロデューサー	事業協力・助言	有	大阪府
4	國守 正二	大阪観光局 留学生支援推進室 留学生支援・教育旅行学校交流コーディネーター	事業協力・助言	有	大阪府
5	村橋 靖之	日本貿易振興機構大阪本部長	事業協力・助言	有	大阪府
6	吉田 圭輔	一般社団法人Transcend-Learning 理事・事務局長	事業協力・助言	有	大阪府

#### ③行政機関

(順不同)

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
1	山本 純孝	大阪府教育庁私学課総務・専各振興グループ総括補佐	事業協力・助言	有	大阪府

## 第2章：個別事業の実施内容

### (3) 構成員等

#### ①実施委員会構成員

(順不同)

	氏名	所属・役職
1	清水 尚道	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 理事長 森ノ宮医療学園専門学校 理事長
2	小林 幸治	大阪商工会議所人材開発部 部長
3	國守 正二	大阪観光局 留学生支援推進室 留学生支援・教育旅行 学校交流コーディネーター
4	村橋 靖之	独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 大阪本部長
5	山本 純孝	大阪府教育庁 私学課 総務・専各振興グループ総括補佐
6	吉田 圭輔	一般社団法人 Transcend-Learning 理事・事務局長
7	齋藤 考宏	公益財団法人大阪産業局 HR戦略部 部長 兼 大阪府よろず支援拠点 統括プロデューサー 兼 大阪産業創造館 経営相談室 統括プロデューサー
8	カオ・レ・ユン・チー	国立ホーチミン市師範大学 日本語学部学部長
9	富永 桂多	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 担当副理事長 関西外語専門学校 理事長
10	山下 裕貴	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 委員長 修成建設専門学校 理事長
11	上田 哲也	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会 副委員長 大阪総合デザイン専門学校 理事長
12	長谷川 恵一	エール学園 総長
13	木村 泰一	ECC国際外語専門学校 留学生センター長
14	中森 健裕	日本メディカル福祉専門学校 副学園長

#### ②ワーキングメンバー構成員

(順不同)

1	富永 桂多	関西外語専門学校
2	山下 裕貴	修成建設専門学校
3	上田 哲也	大阪総合デザイン専門学校
4	平岡 憲人	清風情報工科学院
5	木原 郁	
6	長谷川 恵一	エール学園
7	萩原 大作	
8	瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校
9	瓶井 通	日本理工情報専門学校
10	白石 一幸	ECC国際外語専門学校
11	立山 英展	大阪YMC A国際専門学校
12	小島 賢久	森ノ宮医療学園専門学校
13	名城 アテナ	大阪工業技術専門学校
14	中山 羊奈	大阪YWCA専門学校
15	岡田 智幸	近畿社会福祉専門学校
16	枅 豪司	
17	岡 猛	大阪文化国際学校
18	吉岡 智也	大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA
19	源野 幸次	大阪バイオメディカル専門学校
20	栗本 真里	中央工学校OSAKA
21	五十嵐 世騰	修成建設専門学校
22	重田 大	大阪ベルェベル美容専門学校
23	前野 晃久	関西経理専門学校
24	山田 裕之	大阪総合デザイン専門学校
25	宋 海男	駿台観光アンド外語ビジネス専門学校
26	藤原 和宏	ホスピタリティツーリズム専門学校大阪
27	山内 良太	ポプラ介護福祉学校
28	谷 久美	
29	浅野 貴博	大阪観光ビジネス学院

## 第2章：個別事業の実施内容

### ③事業実施協力機関 (順不同)

事業実施協力機関
大阪府
大阪商工会議所
日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部
大阪観光局
一般社団法人Transcend-Learning
国立ホーチミン市師範大学
日本語教育振興協会
一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
株式会社アクセスネクステージ
株式会社WAVE

### ④担当事業別構成員 (順不同)

#### 〈A〉誘致広報

	氏名	所属
1	山田 裕之	大阪総合デザイン専門学校
2	上田 哲也	大阪総合デザイン専門学校
3	長谷川 恵一	エール学園
4	瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校
5	藤原 和宏	ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪
6	重田 大	大阪ベルェベル美容専門学校
7	名城 アテナ	大阪工業技術専門学校
8	栗本 真里	中央工学校OSAKA
9	山内 良太	ポブラ介護福祉学校

#### 〈B〉教育支援

	氏名	所属
1	白石 一幸	ECC国際外語専門学校
2	富永 桂多	関西外語専門学校
3	平岡 憲人	清風情報工科学院
4	榎 豪司	近畿社会福祉専門学校
5	吉岡 智也	大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA
6	五十嵐 世騰	修成建設専門学校
7	中山 羊奈	大阪YWCA専門学校
8	岡 猛	大阪文化国際学校
9	谷 久美	ポブラ介護福祉学校
10	源野 幸次	大阪バイオメディカル専門学校

#### 〈C〉就職支援

	氏名	所属
1	山下 裕貴	修成建設専門学校
2	前野 晃久	関西経理専門学校
3	萩原 大作	エール学園
4	岡田 智幸	近畿社会福祉専門学校
5	瓶井 通	日本理工情報専門学校
6	宗 海男	駿台観光アンド外語ビジネス専門学校
7	立山 英展	大阪YMCA国際専門学校
8	小島 賢久	森ノ宮医療学園専門学校

### (4) 会議の開催と連携・協力体制

#### ①実施委員会（年2回）

企業・行政・教育機関等と連携を強化し、意見提言や実務協力を得る。また、今後の発展・活用について意見聴取を行った。

・第1回 2023年8月25日（金） ・第2回 2024年2月16日（木）

#### ②ワーキング会議（月1回）

事業実施のための現状と課題を共有・議論し、事業全般の計画策定・進捗管理を行い具体的に実行推進した。

・第1回 2023年7月21日（金） ・第5回 2023年11月17日（金）  
・第2回 2023年8月25日（金） ・第6回 2023年12月15日（金）  
・第3回 2023年9月15日（金） ・第7回 2024年1月26日（金）  
・第4回 2023年10月19日（木） ・第8回 2024年2月16日（金）

#### ③連携・協力体制（順不同）

##### **【大阪府】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、行政の面からの協力及び助言を頂いた。

##### **【大阪商工会議所】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、大阪の企業への周知と呼びかけの協力を得た。

##### **【日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、企業の要望・留学生受入れの傾向など協力及び助言を頂いた。

##### **【大阪観光局】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、広報面からの協力を頂いた。  
また大専各として、「留学生支援コンソーシアム大阪」に参加した。

##### **【一般社団法人 Transcend-Learning】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、就職支援の協力及び助言を頂いた。

##### **【国立ホーチミン市師範大学】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、実施委員就任、広報の協力及び海外の面からの助言を頂いた。

##### **【日本語教育振興協会】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、誘致広報、教育支援の協力及び助言を頂いた。

##### **【一般財団法人職業教育・キャリア教育財団(以下、TCE財団)】**

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の遂行にあたり、協力・連携した。

---

令和5年度文部科学省委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」  
コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備  
大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2023  
成果報告書

発行日 令和6（2024）年2月 第1版  
令和6（2024）年3月 第2版

受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

住所 〒534-0026大阪市都島区網島町6番20号大阪私学教育文化会館内

TEL：06-6352-0048 FAX：06-6352-7553

大専各公式サイト

<http://www.daisenkaku.or.jp/>



OSAKA留学生情報サイト

<https://study-osaka.com/>



